

三菱電機パッケージエアコン (R410A対応) 設備用インバーターエアコン

形名

空冷ヒートポンプ形

標準タイプ〈床置形〉

PFHV-P140DM-E

PFHV-P224,280,450,560,670,800,1120,1400,1600DM-E(1)

PFHV-P140,224,280,450,560,670,800,1120,1400,1600VCM-E1

オールフレッシュタイプ〈床置形〉

PFHV-P167DM-E-F

PFHV-P265,335,530,670,1000,1250,1600DM-E(1)-F

PFHV-P167,265,335,530,670,1000,1250,1600VCM-E1-F

高COPタイプ〈床置形〉

PFHV-EP224,280,450,560DM-E

PFHV-EP224,280,450,560VCM-E1

冷房専用形

年間冷房中温タイプ〈床置形〉

PFTV-P140DM-E

PFTV-P224,280,450,560,670,800,1120,1400DM-E(1)

PFTV-P140,224,280,450,560,670,800,1120,1400VCM-E1

もくじ

安全のために必ず守ること	2~5
各部の名称とはたらき	6・7
リモコンの操作について	8~34
データモニタリング機能	35~44
お手入れのしかた	45~47
長期間ご使用にならないとき	48
「故障かな?」と思ったら	49・50
保証とアフターサービス	51・52
移設・工事・点検について	52・53
仕様	54~59

取扱説明書



省エネで 守る環境 豊かな暮らし

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・ ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- ・ お読みになったあとは、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ・ 保証書は、『お買上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- ・ お使いになる方が代わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
- ・ お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

安全のために必ず守ること

- ・この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ・ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害、損害の程度

- ・図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般注意)



(破裂注意)



(感電注意)



(高温注意)



(回転物注意)



(一般指示)

- ・お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ・お使いになる方は、この本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- ・使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- ・法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

冷やし過ぎないこと。

- ・冷やし過ぎた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



使用禁止

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- ・オールフレッシュタイプの場合、外気を直接吹き出す。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



使用禁止

特殊環境では、使用しないこと。

- ・油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- ・燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



使用禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- ・圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ・設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ・当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

ユニットを水・液体で洗わないこと。

- ・ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ・ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。


- ・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。


- 落下・転倒し、けがのおそれあり。



足元注意

アルコール消毒した場合、周囲に充満するアルコールガスを換気して取り除くこと。


- ガスを取り除かずに電源を入れた場合、引火・爆発のおそれあり。
(本製品は防爆仕様ではありません)



爆発注意

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。


- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



感電注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。


- 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



やけど注意

据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。(子どもを近づけないこと)


- 工具などが落下した場合、けがのおそれあり。



指示を実行

室内温度を管理すること。


- オールフレッシュタイプの場合、停止時でも外気が流入する。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



指示を実行

換気をよくすること。


- 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。



換気を実行

換気をよくすること。


- 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



換気を実行

ヒューズ交換の場合、指定容量のヒューズを使用すること。


- 指定容量外のヒューズ・針金・銅線を使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



指示を実行

異常時(こげ臭いなど)や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。


- お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。


- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。


- ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。



指示を実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。




指示を実行

⚠ 注意

製品の近くに可燃物を置かないこと。また、可燃性スプレーを使用しないこと。


- 引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。


- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。


- 回転機器に触れると、巻き込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。


- ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。



使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。


- 保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。


- 悪影響のおそれあり。



使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。


- 運転停止から5分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

ぬれて困るものを下に置かないこと。


- ◆ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。



据付禁止

保護具を身に付けて作業すること。


- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



けが注意

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。


- ◆けがのおそれあり。



接触禁止

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。


- ◆ファンによるけがのおそれあり。



回転物注意

水の入った容器を製品などの上に載せないこと。


- ◆水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

保護具を身につけて作業すること。


- ◆保護具を付けないとけがのおそれあり。



指示を実行

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。


- ◆ホコリが目に入り、けがのおそれあり。



ホコリ注意

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。


- ◆けがのおそれあり。



指示を実行

保護具を身に付けて操作すること。


- ◆主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



感電注意

販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ◆ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、ドレン排水経路が詰まり、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- ◆においが発生するおそれあり。




指示を実行

配管工事をするときに

警告

サービスバルブを操作する場合、冷媒噴出に注意すること。

- ◆冷媒が漏れた場合、冷媒を浴びると、凍傷・けがのおそれあり。
- ◆冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。




冷媒注意

移設・修理をするときに

警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。


- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

雨天の場合、サービスはしないこと。


- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- ◆不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。




指示を実行

注意

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ◆ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



接触禁止

お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

♦ 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。

♦ シーズン中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。

♦ 法律（フロン回収・破壊法）によって罰せられます。

ユニットの使用範囲を守ってください。

♦ 範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。

♦ 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

♦ ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

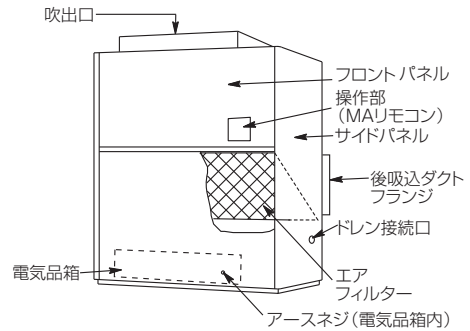
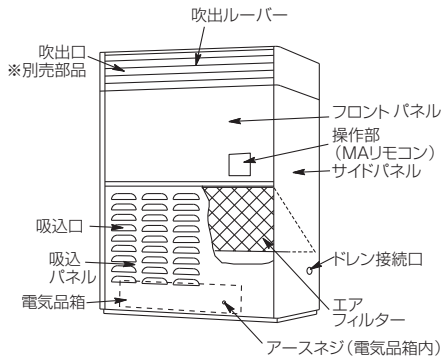
各部の名称とはたらき

本体部分

室内ユニット

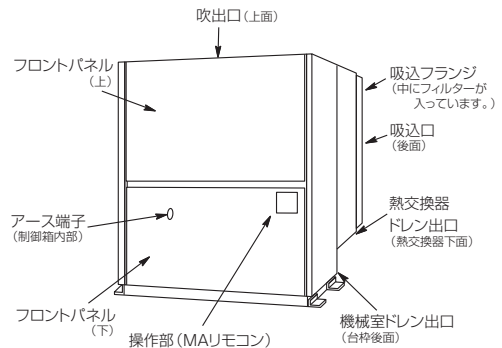
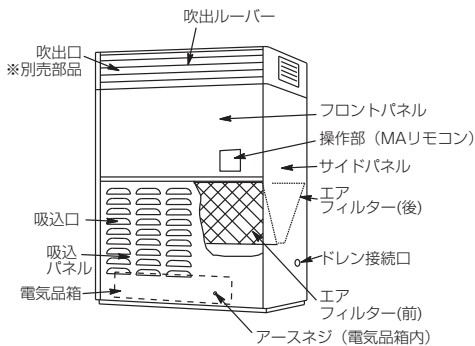
PFAV-P140(V)DM-E, PFAV-P224(V)DM-E(1)
 PFAV-P280(V)DM-E(1), PFAV-P450(V)DM-E(1)
 PFAV-P560(V)DM-E(1), PFAV-EP224(V)DM-E(1)
 PFAV-EP280(V)DM-E
 PFT-P140(V)DM-E, PFT-P224~560(V)DM-E(1)

PFAV-P167(V)DM-E-F, PFAV-P265(V)DM-E(1)-F
 PFAV-P335(V)DM-E(1)-F, PFAV-P530(V)DM-E(1)-F
 PFAV-P670(V)DM-E(1)-F

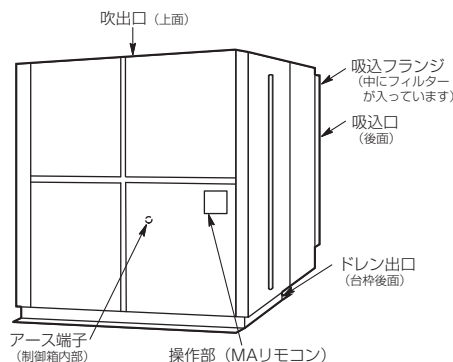


PFAV-EP450(V)DM-E
 PFAV-EP560(V)DM-E

PFAV-P670(V)DM-E(1), PFAV-P1000(V)DM-E(1)-F
 PFAV-P800(V)DM-E(1), PFT-P670(V)DM-E(1)
 PFT-P800(V)DM-E(1)



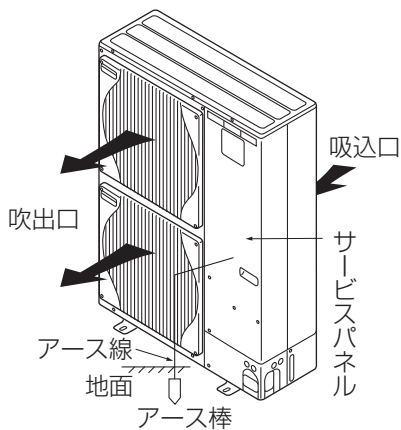
PFAV-P1120(V)DM-E(1), PFAV-P1250(V)DM-E(1)-F
 PFAV-P1400(V)DM-E(1), PFAV-P1600(V)DM-E(1)-F
 PFAV-P1600(V)DM-E(1), PFT-P1120(V)DM-E(1)
 PFT-P1400(V)DM-E(1)



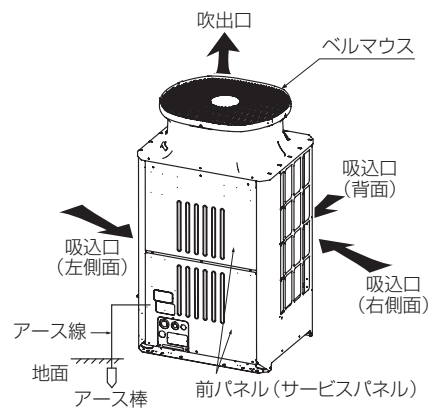
本体部分

室外ユニット

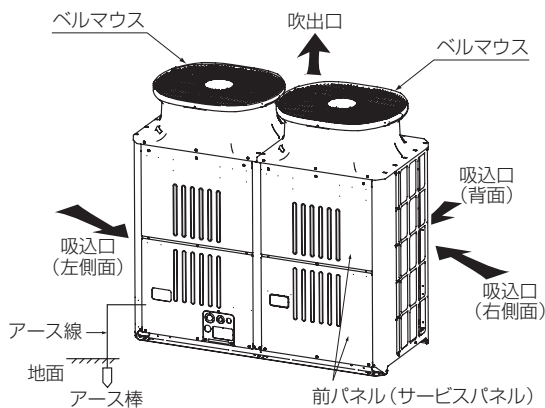
PUHV-P140DM-E(-BS, BSG)
 PUHV-P140VCM-E1
 PUTV-P140DM-E(-BS, BSG)
 PUTV-P140VCM-E1



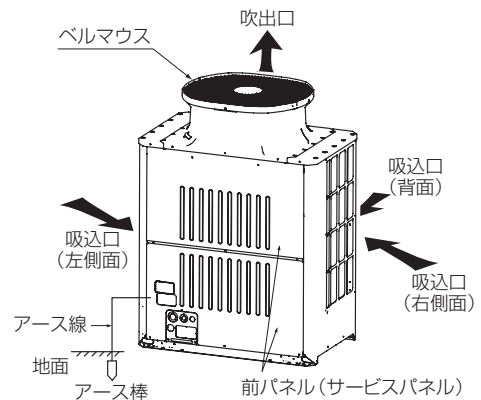
PUHV-(E)P224(S)DM-E,V(S)CM-E1 (-BS, BSG)
 PUHV-P280(S)DM-E,V(S)CM-E1 (-BS, BSG)
 PUHV-P335SDM-E,VSCM-E1 (-BS, BSG)
 PUHV-P400SDM-E,VSCM-E1 (-BS, BSG)
 PUTV-P224DM-E,VCM-E1 (-BS, BSG)
 PUTV-P280(S)DM-E,V(S)CM-E1 (-BS, BSG)
 PUTV-P335SDM-E,VSCM-E1 (-BS, BSG)
 PUTV-P400SDM-E,VSCM-E1 (-BS, BSG)



PUHV-P450(S)DM-E,V(S)CM-E1 (-BS, BSG)
 PUHV-P500SDM-E,VSCM-E1 (-BS, BSG)
 PUHV-P560DM-E,VCM-E1 (-BS, BSG)
 PUTV-P450(S)DM-E,V(S)CM-E1 (-BS, BSG)
 PUTV-P500SDM-E,VSCM-E1 (-BS, BSG)
 PUTV-P560DM-E,VCM-E1 (-BS, BSG)



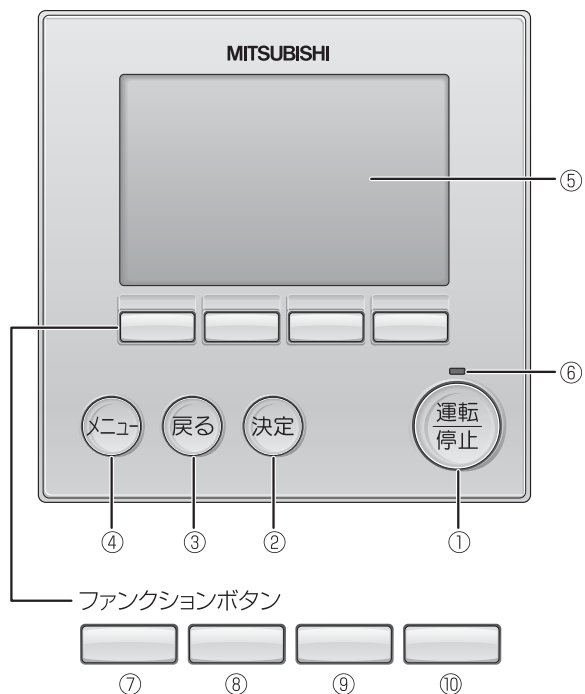
PUHV-EP280DM-E,VCM-E1 (-BS, BSG)
 PUHV-EP335SDM-E,VSCM-E1 (-BS, BSG)



※異電圧タイプはベルマウスの形状が若干異なります。

操作部 (MAリモコン)

操作部



① 運転/停止 ボタン

1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

② 決定 ボタン

設定の決定をします。

③ 戻る ボタン

前の画面に戻ります。

④ メニュー ボタン 13 ページ

メインメニューを表示します。

⑤ 液晶表示部 (バックライト付)

運転内容を表示します。
バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

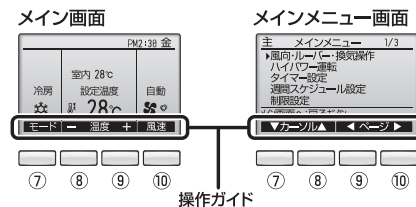
バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。
バックライトのみ点灯します。
(**運転/停止** ボタンは除く)

⑥ 運転ランプ

運転中、緑色に点灯します。
立上げ時・異常時は点滅します。

ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。
液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示されません。



⑦ ファンクションボタン [F1]

メイン画面：運転モードを切替えます。
メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。

⑧ ファンクションボタン [F2]

メイン画面：設定温度を下げます。
メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。

⑨ ファンクションボタン [F3]

メイン画面：設定温度を上げます。
メインメニュー画面：前のページを表示します。

⑩ ファンクションボタン [F4]

メイン画面：風速を切替えます。
メインメニュー画面：次のページを表示します。
(本機種では風速の切替はできません)

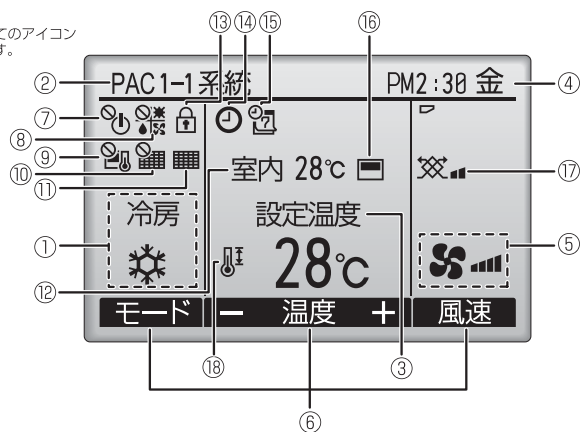
操作部 (MAリモコン)

表示部

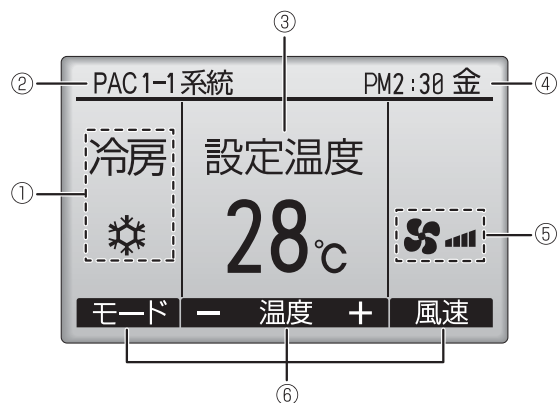
メイン画面の表示には、「詳細」と「簡易」の2種類があります。
出荷時は詳細表示となっています。
簡易画面への切換えは「メイン画面表示設定」で変更します。(23ページ参照)

詳細画面

*説明のためすべてのアイコン
を表示しています。



簡易画面



① 運転モード表示 11ページ

運転中の状態を表示します。

② リモコン名表示

リモコンの名前を表示します。
(異常猶予中は4桁のコードを表示します)

③ 設定温度表示 11ページ

設定温度を表示します。

④ 時刻表示

現在の時刻を表示します。

⑤ 風速表示

風速の状態を表示します。

⑥ 操作ガイド

ファンクションボタンの機能名を表示します。

⑦ 表示

発停操作が集中管理中の時に表示します。

⑧ 表示

運転モード操作が集中管理中の時に表示します。

⑨ 表示

設定温度操作が集中管理中の時に表示します。

⑩ 表示

フィルターリセット操作が集中管理中の
時に表示します。

⑪ 表示 21ページ

フィルターのお手入れ・ダストボックス
ごみ捨て時期になると表示します。

清掃中の時は を表示します。

⑫ 室内温度表示

現在の室内温度を表示します。

⑬ 表示 19ページ

操作ロック設定が有効の時に表示します。

⑭ 表示 15ページ

オン/オフタイマー設定が有効の時に表示します。

⑮ 表示 17ページ

週間スケジュールタイマー設定が有効の
時に表示します。

⑯ 表示

⑫の室内温度を検知するセンサー位置が
リモコンの時に表示します。

室内ユニットの時は を表示します。

⑰ 表示 14ページ

換気の状態を表示します。

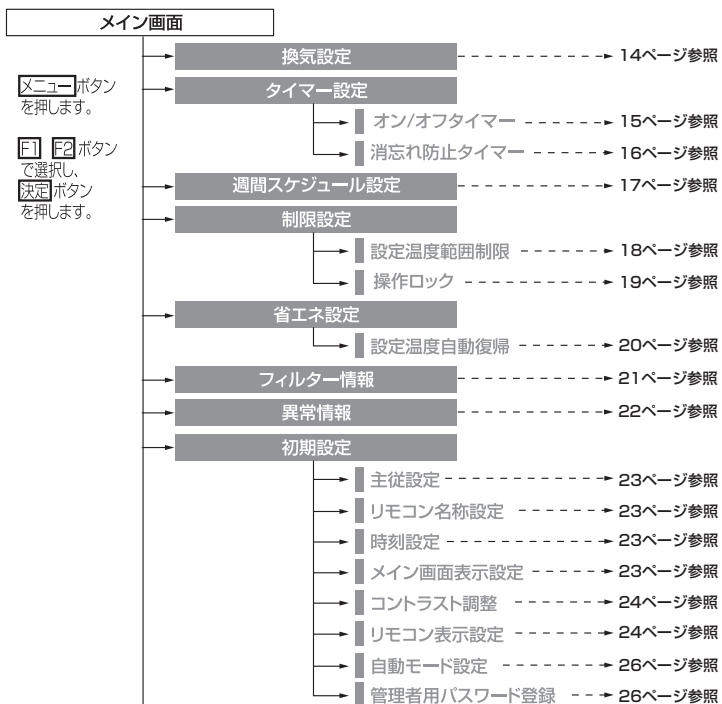
⑱ 表示 18ページ

設定温度範囲制限設定が有効の時に表示します。

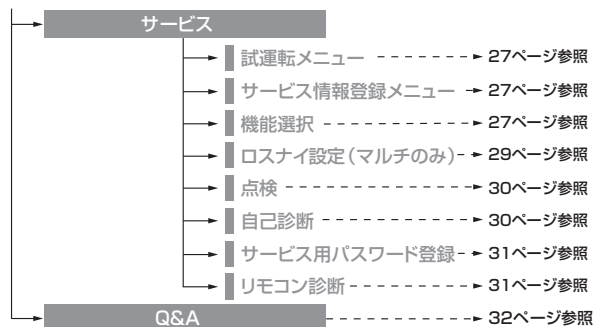
基本運転（運転/停止、運転モード切換、温度設定）以外はメニュー画面からの設定となります。(13ページ)

操作部 (MAリモコン)

画面の流れ



注意 下記①～③の機能はリモコン上では表示されませんが、ご使用頂くことはできませんのでご注意ください。リモコンで選択しますと下記の画面が表示されます。



室内ユニットの機種により、設定できない項目があります。

取扱説明書内のアイコンの説明

使用方法

タイマー設定 **P** ← 取扱説明書内にマークがある時、以下の内容を表しています。

P	設定を変更する場合、管理者用パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。 F1 ボタン:カーソルが左に移動します。 F2 ボタン:カーソルが右に移動します。 F3 ボタン:数字を1減らします。 F4 ボタン:数字を1増やします。 ※パスワードがわからない場合、異なった場合は設定変更できません。	主	主リモコンのみ操作することができます。
運	運転中のみ操作することができます。	停	停止中のみ操作することができます。
冷暖	冷房・暖房・自動運転中のみ操作することができます。		操作ロック中、集中管理中に操作することができません。

使用方法 - 基本操作

運転・停止



操作方法

運転



[運転/停止] ボタンを押します。
運転ランプ（緑）が点灯し、運転を開始します。

停止



もう一度 [運転/停止] ボタンを押します。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

再運転内容

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度

設定温度範囲

運転モード	設定温度範囲
冷房	14~30℃
暖房	17~28℃
自動	17~28℃
送風・換気	設定できません。

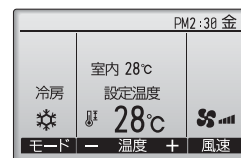
上表は中温機種の設定範囲になります。
室内ユニット機種（標準・中温・低温機種
など）により設定可能な温度範囲が異なります。

運転モード・温度設定



操作方法

運転モード



F1 F2 F3 F4



[F1] ボタンを押すごとに
「冷房」「送風」「自動」「暖房」
の順に変わります。
ご希望の運転に切換えます。



■室内ユニットの機種により設定できない運転モードは表示されません。

モード表示が点滅する場合

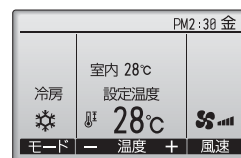
室外ユニットに接続された他の室内
ユニットが、すでに異なる運転モード
で運転している場合に表示します。
他の室内ユニットの運転モードに
合わせてください。

自動モード対応機種

- ・PFHV-P140DM-E
- ・PFHV-(E) P224DM-E (1)
- ・PFHV-(E) P280DM-E (1)
- ・PFHV-(E) P450DM-E (1)
- ・PFHV-(E) P560DM-E (1)
- ・PFTV-P140DM-E
- ・PFTV-P224DM-E (1)
- ・PFTV-P280DM-E (1)
- ・PFTV-P450DM-E (1)
- ・PFTV-P560DM-E (1)
- ・PFHV-(E) P224VCM-E1
- ・PFHV-(E) P280VCM-E1
- ・PFHV-(E) P450VCM-E1
- ・PFHV-(E) P560VCM-E1
- ・PFTV-P140VCM-E1
- ・PFTV-P224VCM-E1
- ・PFTV-P280VCM-E1
- ・PFTV-P450VCM-E1
- ・PFTV-P560VCM-E1

※詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

温度設定



F1 F2 F3 F4



設定温度は [F2] ボタンを押すごとに 1℃ずつ下
がり、[F3] ボタンを押すごとに 1℃ずつ上がりま
す。

■設定可能範囲は設定温度範囲（左記）を参照ください。
■送風・換気運転の場合は設定できません。

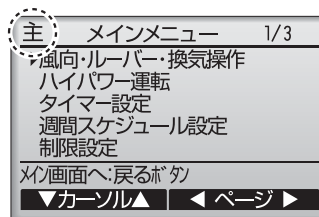
使用方法 - メニュー操作

メインメニュー一覧

設定および表示項目		詳細内容	参照ページ
換気設定		換気:換気量を設定します。 ■「[停止]」「[弱]」「[強]」から設定します。	14ページ
タイマー設定	オン/オフタイマー	運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■設定時刻は5分単位で設定可能です。 ※時刻設定が必要です。	15ページ
	消忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ■設定時間は10分単位で30~240分まで選択可能です。	16ページ
週間スケジュール設定		1週間の運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■1日最大8パターンまで設定可能です。 ※時刻設定が必要です。 ※オン/オフタイマー有効中は動作しません	17ページ
制限設定	設定温度範囲制限	設定温度の範囲を制限します。 ■運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	18ページ
	操作ロック	指定した操作をロックします。 ■操作ロック中は指定した操作が無効となります。	19ページ
省エネ設定	設定温度自動復帰	設定時間後に設定した温度に戻ります。 ■設定時間は10分単位で30~120分まで選択可能です。 ※設定温度範囲制限が有効の時は機能しません。	20ページ

設定および表示項目		詳細内容	参照ページ
フィルター情報		フィルターサイン発生状況を表示します。 ■フィルターサインの解除を行います。	21ページ
異常情報		ユニットに異常が発生した時、異常内容を表示します。 ■異常コード、異常発生元、冷媒アドレス、形名、製造番号、連絡先情報(販売店名、サービス店名、電話番号)を表示します。 ※形名以降はあらかじめ入力が必要です。 ■携帯電話点検コード検索サービスサイトのURLとQRコードを表示します。	22ページ
初期設定	時刻設定	現在の時刻を設定します。	23ページ
	メイン画面表示設定	メイン画面の詳細表示と簡易表示の切換えを行います。 ■デフォルト:詳細表示	23ページ
	コントラスト調整	液晶の濃度の調整を行います。	24ページ
Q&A		代表的なトラブルシューティングなどが表示されます。	32ページ

従リモコンの制約事項



従リモコンでは以下の設定ができません。
主リモコンにて設定してください。
主リモコンの場合、メインメニューのタイトル欄に「主」表示があります。

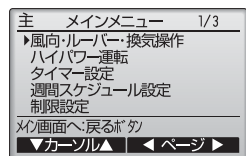
- タイマー設定 (オン/オフタイマー、消忘れ防止タイマー)
 - 週間スケジュール設定
 - 省エネ設定 (設定温度自動復帰)
- ※風向・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。(P10 参照)

使用方法 - メニュー操作

メインメニュー画面での操作のしかた

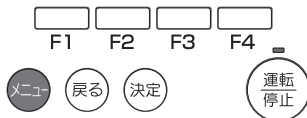
操作方法

画面表示

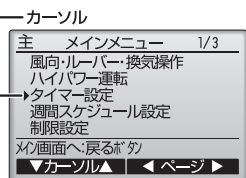


メニュー ボタンを押します。

メインメニュー画面が表示されます。

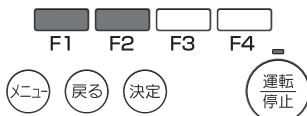


項目選択

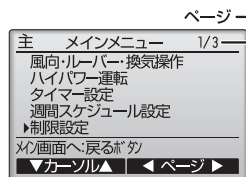


F1 ボタンでカーソルが下がります。

F2 ボタンでカーソルが上がります。



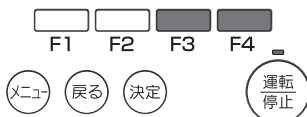
ページ移動



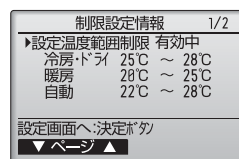
F3 ボタンで前のページを表示します。

F4 ボタンで次のページを表示します。

[注意]
・風向・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。
(P10 参照)



決定

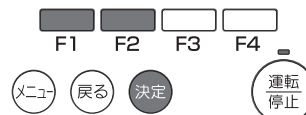


ご希望の項目を選択し、**決定** ボタンを押します。

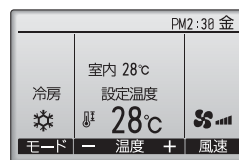
選択した設定画面が表示されます。

[注意]

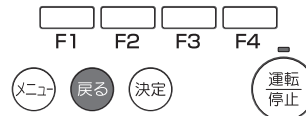
・ドライモードは設定できません。(P11 参照)



戻る

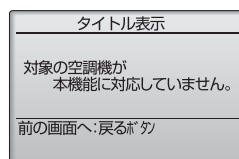


メインメニュー画面からメイン画面に戻るには
戻る ボタンを押します。

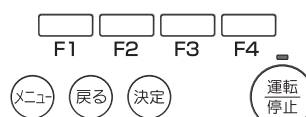


各項目の設定途中で約 10 分間ボタン操作がない場合、自動でメイン画面に戻ります。
このとき設定途中の内容は無効となります。

機能未対応



メニュー項目の選択操作を行った時、対象の室内ユニットが機能に対応していない場合、左記メッセージ画面を表示します。



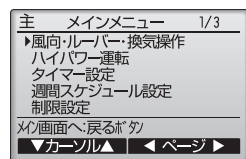
使用方法 - 各種設定操作

換気設定



操作方法

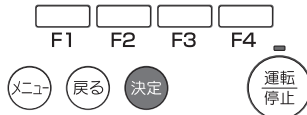
画面表示



メインメニュー画面（13ページ参照）で「風向・ルーバー・換気操作」を選択し、「決定」ボタンを押します。

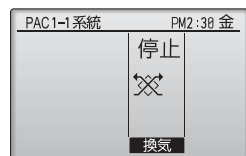
[注意]

・風向・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P10 参照）



14

換気

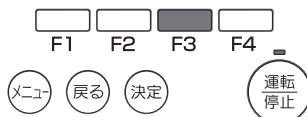


[F3] ボタンを押すごとに「停止」「弱」「強」の順に変わります。

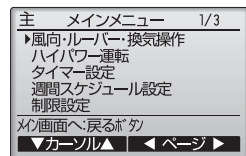
※換気設定時のみ変更できます



■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。



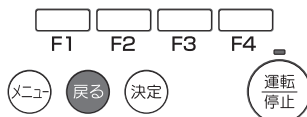
戻る



メインメニュー画面へ戻るには「戻る」ボタンを押します。

[注意]

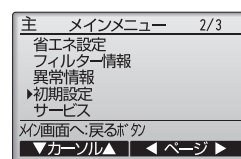
・風向・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P10 参照）



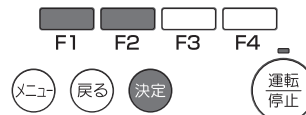
時刻設定

操作方法

1



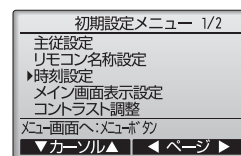
メインメニュー画面（13ページ参照）で「初期設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。



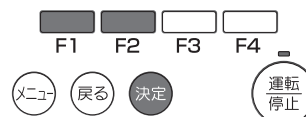
以下の設定には時刻設定が必要です。

- オン/オフタイマー設定
- 週間スケジュール設定
- 省エネ運転スケジュール

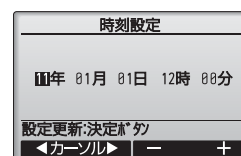
2



[F1] [F2] ボタンで「時刻設定」を選択し「決定」ボタンを押します。



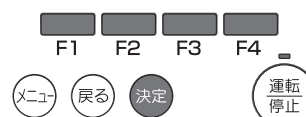
3



[F1] [F2] ボタンで「年」「月」「日」「時」「分」のうち、変更したい項目を選択します。

[F3] [F4] ボタンで現在の日時に変更し、「決定」ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。



画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る・・・メニューボタン
- 前の画面に戻る・・・戻るボタン

使用方法 - 各種設定操作

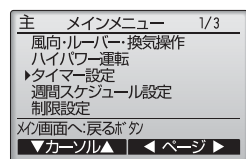
タイマー設定



オン / オフタイマーの設定方法

操作方法

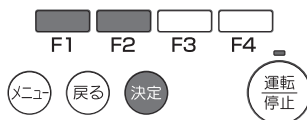
1



メインメニュー画面（13ページ参照）で「タイマー設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。

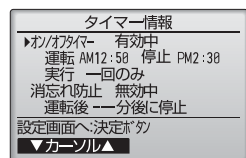
[注意]

・風向・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P10 参照）



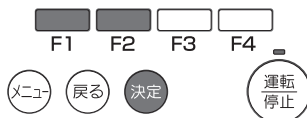
以下の場合、オン / オフタイマー設定は実行されません。
 オン / オフタイマー無効中 / 異常中 / 点検中（サービスメニュー内） / 試運転中 / リモコン診断中 / 時刻未設定 / 機能選択中 / 集中管理中（運転 / 停止が禁止の場合）

2

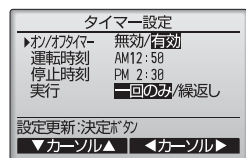


現在の設定状況が表示されます。

タイマー情報画面で「オン / オフタイマー」を選択し、**決定** ボタンを押します。

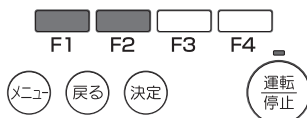


3

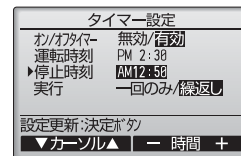


タイマー設定画面が表示されます。

F1 **F2** ボタンで「オン / オフタイマー」「運転時刻」「停止時刻」「実行」のうち、変更したい項目を選択します。

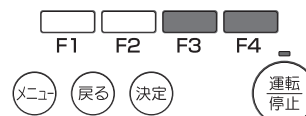


4

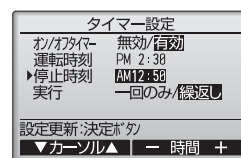


F3 **F4** ボタンでご希望の設定に切替えます。

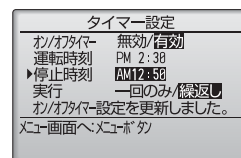
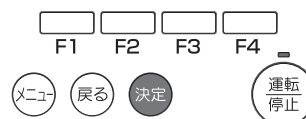
- オン / オフタイマー 「無効」「有効」
- 運転時刻 5分単位で設定
※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
- 停止時刻 5分単位で設定
※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
- 実行 「一回のみ」「繰返し」



5

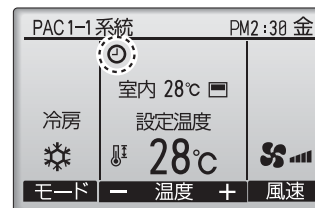


ご希望の設定に切替えた後、**決定** ボタンを押します。



設定確定画面が表示されます。

画面移動方法
 ■ メインメニュー画面へ戻る・・・**メニュー** ボタン
 ■ 前の画面に戻る・・・**戻る** ボタン



オン / オフタイマー設定が有効の時、詳細メニュー画面に「**⌚**」が表示されます。

使用方法 - 各種設定操作

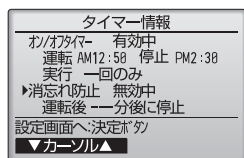
タイマー設定



消忘れ防止タイマーの設定方法

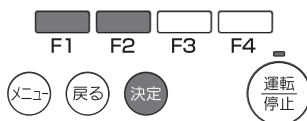
操作方法

1



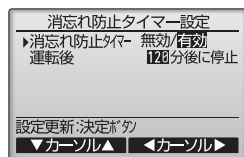
タイマー設定画面を表示します。
(15ページ参照)

タイマー設定画面で「消忘れ防止」を選択し、**決定** ボタンを押します。



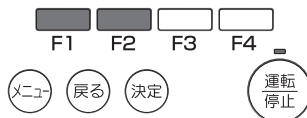
以下の場合、消忘れ防止タイマー運転は実行されません。
消忘れ防止タイマー無効中 / 異常中 / 点検中 (サービスメニュー内) / 試運転中 / リモコン診断中 / 時刻未設定 / 機能選択中 / 集中管理中 (運転 / 停止が禁止の場合)

2

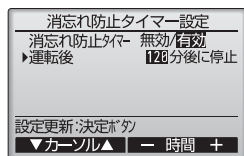


現在の設定状況が表示されます。

F1 **F2** ボタンで「消忘れ防止タイマー」「運転後」のうち、変更したい項目を選択します。

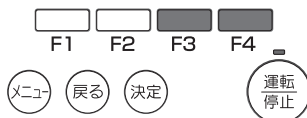


3

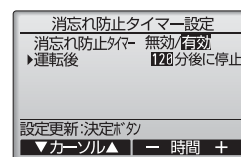


F3 **F4** ボタンでご希望の設定に切換えます。

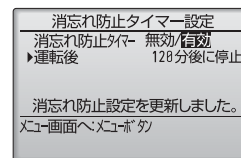
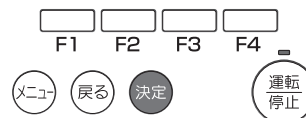
- 消忘れ防止タイマー 「無効」「有効」
- 運転後 設定範囲：30～240分
10分単位で設定



4



ご希望の設定に切換えた後、**決定** ボタンを押します。



設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る・・・**メニュー** ボタン
- 前の画面に戻る・・・**戻る** ボタン

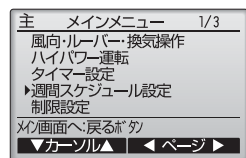
使用方法 - 各種設定操作

週間スケジュール設定



操作方法

1

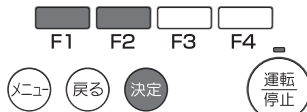


メインメニュー画面（13ページ参照）で「週間スケジュール設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

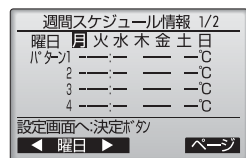
[注意]

・風向・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P10 参照）

以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。
 オン/オフタイマー有効中/週間スケジュール無効中/異常中/点検中（サービスメニュー内）/試運転中/リモコン診断中/時刻未設定/機能選択中/集中管理中（禁止中の項目〔運転/停止、設定温度〕に該当する設定内容は実行されません。）



2

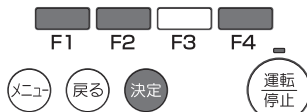


現在の設定状況が表示されます。

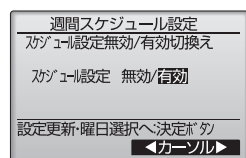
[F1] **[F2]** ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。

[F4] ボタンで5～8パターンを表示します。

設定画面へ進むには **[決定]** ボタンを押します。

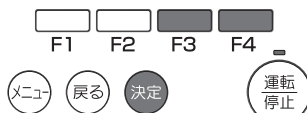


3

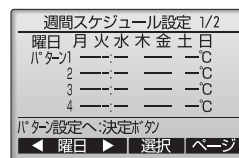


スケジュール設定無効 / 有効切換え画面が表示されます。

スケジュールを有効にする場合は、**[F3]** **[F4]** ボタンで「有効」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。



4



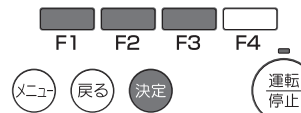
週間スケジュール設定画面が表示されます。

現在の設定状況が表示されます。

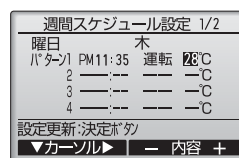
1日8パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、**[F1]** **[F2]** ボタンで曜日を選択し、**[F3]** ボタンを押して設定する曜日を確定します。（曜日は複数選択できます）

ご希望の曜日に選択した後、**[決定]** ボタンを押します。



5



パターン設定画面が表示されます。

[F1] ボタンでパターンを選択します。

[F2] ボタンで「時刻」「運転/停止」「温度」を選択します。

[F3] **[F4]** ボタンでご希望の設定に切換えます。

■時刻 5分単位で設定

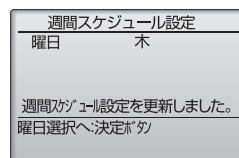
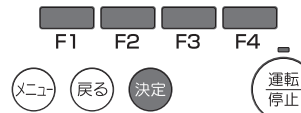
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

■運転/停止 「運転」「停止」

■温度 設定範囲：接続される室内ユニットの設定可能温度範囲。

ご希望の設定に切換えた後、**[決定]** ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

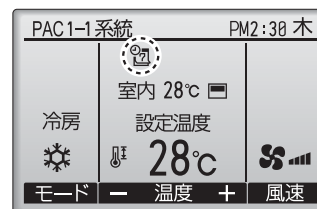


画面移動方法

- 設定更新・曜日選択画面に戻る・・・**[決定]** ボタン
- メインメニュー画面へ戻る・・・**[メニュー]** ボタン
- 前の画面に戻る・・・**[戻る]** ボタン

当日実行する週間スケジュール設定があるとき、詳細メイン画面に「**[?]**」が表示されます。

オン/オフタイマー有効中は表示されません。



使用方法 - 各種設定操作

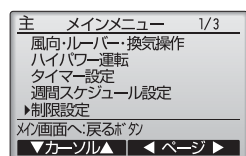
制限設定



設定温度範囲制限の設定方法

操作方法

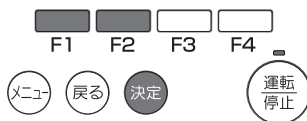
1



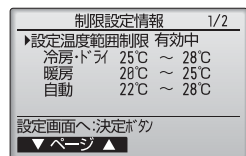
メインメニュー画面（13ページ参照）で「制限設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

[注意]

・風向・ルーバー、ハイパワー運転は設定できません。（P10 参照）

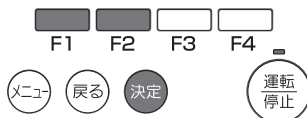


2

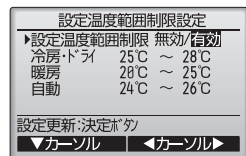


現在の設定状況が表示されます。

[F1] **[F2]** ボタンで「設定温度範囲制限」を選択し **[決定]** ボタンを押します。



3

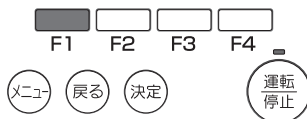


設定温度範囲制限設定画面が表示されます。

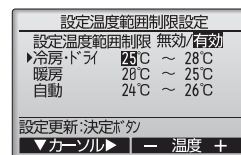
[F1] ボタンで「設定温度範囲制限」「冷房・ドライ上下限值」「暖房上下限值」「自動上下限值」のうち、変更したい項目を選択します。

[注意]

・ドライモードは設定できません。（P11 参照）



4



[F3] **[F4]** ボタンでご希望の設定に切替えます。

- 設定温度範囲制限 「無効」「有効」
- 冷房・ドライ上下限值
- 暖房上下限值
- 自動上下限值

設定温度範囲制限の設定範囲

モード	下限値	上限値
冷房	14~30℃	30~14℃
暖房	17~28℃	28~17℃
自動	17~28℃	28~17℃

※上表は中温機種の設定範囲になります。
設定範囲は接続されるユニット（標準、中温、低温機種など）により異なります。

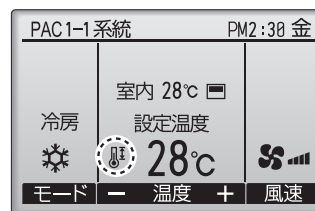
※ドライモードは表示されますが、設定できません。

ご希望の設定に切替えた後、**[決定]** ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る・・・ **[メニュー]** ボタン
- 前の画面に戻る・・・ **[戻る]** ボタン



設定温度範囲制限設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

使用方法 - 各種設定操作

制限設定

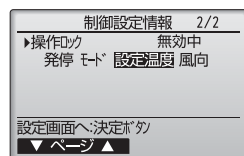


操作ロックの設定方法

操作方法

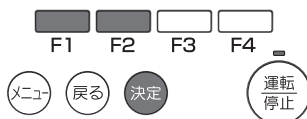
操作をロックするときは
操作ロック設定を「有効」にしてください。

1

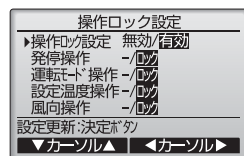


制限設定画面を表示します。
(18ページ参照)

制限設定画面で「操作ロック」を選択し、
決定ボタンを押します。



2



操作ロック設定画面が表示されます。

F1 F2 ボタンで「操作ロック設定」「発停操作」
「運転モード操作」「設定温度操作」「風向操作」
のうち、変更したい項目を選択します。

F3 F4 ボタンでご希望の設定に切替えます。

- 操作ロック設定 「無効」「有効」
- 発停操作 「-」「ロック」
- 運転モード操作 「-」「ロック」
- 設定温度操作 「-」「ロック」

[注意]

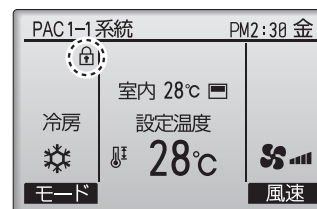
・風向操作は設定できません。


ご希望の設定に切替えた後、決定ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る・・・メニューボタン
- 前の画面に戻る・・・戻るボタン



操作ロック設定が有効の時、詳細メイン画面に
「」が表示されます。

操作ロックに対応する操作ガイドが表示されな
くなります。

(設定温度ロック時の画面例)

使用方法 - 各種設定操作

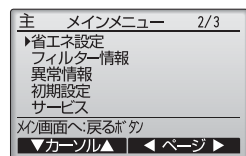
省エネ設定



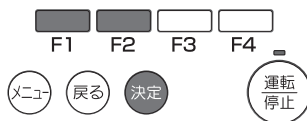
設定温度自動復帰の設定方法

操作方法

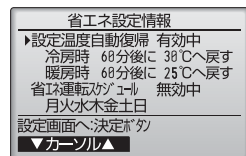
1



メインメニュー画面（13ページ参照）で「省エネ設定」を選択し、**決定**ボタンを押します。

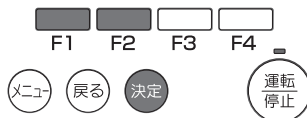


2

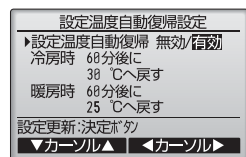


現在の設定状況が表示されます。

F1**F2** ボタンで「設定温度自動復帰」を選択し、**決定**ボタンを押します。

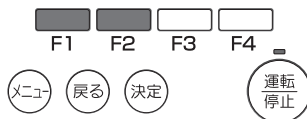


3

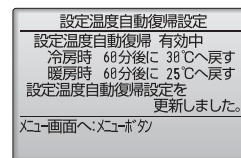
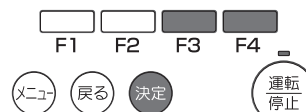
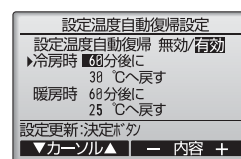


設定温度自動復帰設定画面が表示されます。

F1**F2** ボタンで「設定温度自動復帰」「冷房時」「暖房時」のうち、変更したい項目を選択します。



4



F3**F4** ボタンでご希望の設定に切替えます。

- 設定温自動復帰 「無効」「有効」
- 冷房時 時間の設定範囲：30分～120分
(10分単位)
温度の設定範囲：14℃～30℃
- 暖房時 時間の設定範囲：30分～120分
(10分単位)
温度の設定範囲：17℃～28℃

※上記は中温機種の設定範囲になります。
設定範囲は接続されるユニット（標準、中温、低温など）により異なります。

ご希望の設定に切替えた後、**決定**ボタンを押します。
「冷房時」は自動冷房、「暖房時」は自動暖房を含みます。

設定画面が表示されます。

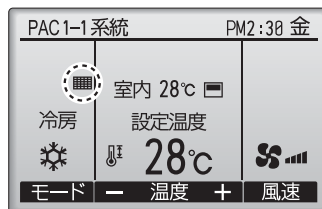
画面移動方法


- メインメニュー画面へ戻る・・・**メニュー** ボタン
- 前の画面に戻る・・・**戻る** ボタン

設定温度範囲制限が有効中および集中管理中（禁止中の項目が「設定温度」の場合は、本設定は実行されません。）

お手入れ

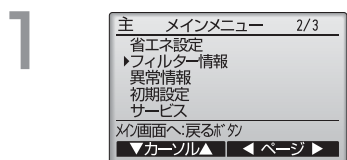
フィルター情報・フィルターサイン解除



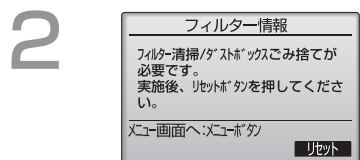
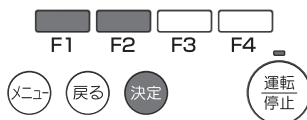
フィルターのお手入れ時期になると、詳細メイン画面に「」が表示されます。

フィルターの洗浄・清掃・交換を行ってください。

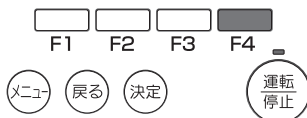
操作方法



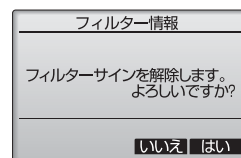
メインメニュー画面（13ページ参照）で「フィルター情報」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。



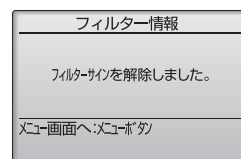
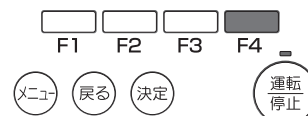
フィルター情報をリセットする場合は**[F4]** ボタンを押します。
フィルター清掃のしかたについては45ページをご覧ください。



3



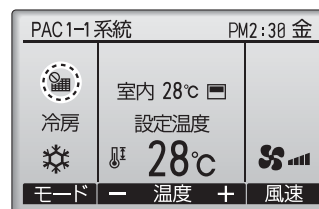
[F4] ボタンで「はい」を選択します。





設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る・・・**[メニュー]** ボタン
- 前の画面に戻る・・・**[戻る]** ボタン



詳細メイン画面に「」が表示されるときは、集中管理中のためフィルターサインを解除することはできません。

フィルターの種類によって清掃時期が異なる場合があります。
「」表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。おおよそ下記の時間ごと、およびシーズン始めと終わりに清掃してください。

標準床置形P140～560形、オールフレッシュ床置形P167～670形	} : 1250時間
年間冷房中温形P140～560形、高COP床置形EP224～560形	
標準床置形P670～1600形、オールフレッシュ床置形P1000～1600形	} : 100時間
年間冷房中温形P670～1400形	

※出荷時は標準床置形P140～560形、オールフレッシュ床置形P167～670形、高COP床置形EP224～560形、年間冷房中温形P140～560形のみ表示する設定にしています。その他機種で表示を行う場合は、販売店にご相談ください。

故障かな?と思ったら

異常情報

異常が発生した場合、以下の異常画面が表示されます。
異常内容を確認の上、運転を停止しお買上げの販売店にご連絡ください。

操作方法

1



異常コード、異常発生元、冷媒アドレス、形名、製造番号が表示されます。
形名、製造番号はあらかじめ手入力されている場合に表示されます。

[F1] [F2] ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報（販売店名、販売店の電話番号、サービス店名、サービス店の電話番号）が表示されます。
あらかじめ手入力されている場合に表示されます。

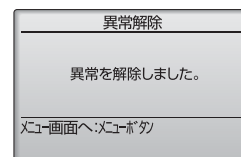
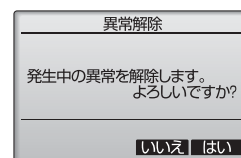
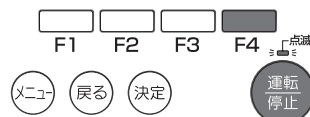
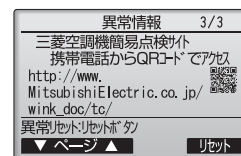
携帯電話点検コード検索サービスサイトの QR コードと URL が表示されます。

QR コード®

二次元バーコードリーダー機能が搭載されてる携帯電話でご利用いただけます。
携帯電話を QR コード®読み取りモードに設定し、QR コード®部分を読み込んでいただくとう簡単にアクセスすることができます。

QR コード®は株式会社デンソーウェアの登録商標です。

2



発生中の異常を解除する場合は [F4] ボタンまたは [運転 / 停止] ボタンを押します。

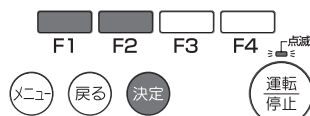
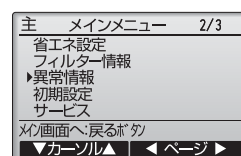
運転 / 停止操作禁止中は異常解除できません。

[F4] ボタンを押すと異常をリセットします。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る・・・[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る・・・[戻る] ボタン

情報確認



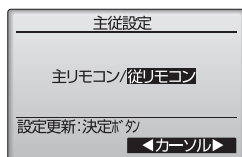
異常が発生していない時、メインメニュー画面（13ページ参照）で「異常情報」を選択すると、異常情報画面の 2/3、3/3 ページの内容（左記）を確認することができます。
異常リセットはできません。

初期設定（リモコン設定）

主従設定

ペアリモコンで使用する時には必ず設定が必要です。ペアリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

操作方法



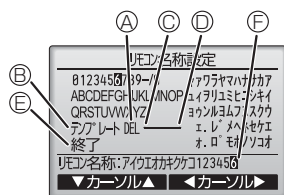
- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、主従設定を選択し「決定」ボタンを押すと、主従設定画面が表示されます。
- ②「F3」「F4」ボタンを操作すると現在選択している項目が反転表示されます。従リモコンを選択した後、「決定」ボタンにより設定更新します。
- ③設定後、「メニュー」ボタンでメインメニュー画面に戻ります。
(以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです)

リモコン名称設定

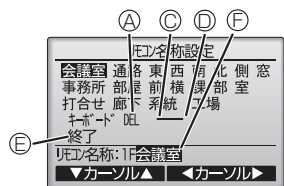


メイン画面に表示させる、リモコン名称の設定をおこないます。リモコン名称は半角16文字まで入力できます。(テンプレートで入力した文字は1文字あたり半角2文字分となります。)

操作方法

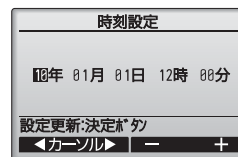


- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、リモコン名称設定を選択し「決定」ボタンを押すと、リモコン名称設定画面が表示されます。
- ②「F1」～「F4」ボタンにて文字を選択し、「決定」ボタンで1文字ずつ決定します。
- ③決定した文字を消去する場合は消去したい文字にカーソルを合わせて「DEL」(A)を選択し「決定」ボタンを押します。
- ④「テンプレート」(B)を選択して「決定」ボタンを押すと、テンプレートを選択してリモコン名称を入力できます。(テンプレートは変更できません。)
- ⑤「←」(C)「→」(D)を選択すると、リモコン名称の文字入力カーソル (E) の文字が対象となり文字消去、変更ができます。
- ⑥入力が完了したら、「終了」(E)を選択します。「決定」ボタンを押してリモコン名称を決定します。



時刻設定

操作方法

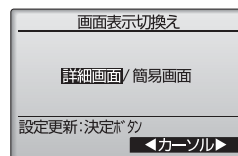


- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、時刻設定を選択し「決定」ボタンを押すと、時刻設定画面が表示されます。
- ②「F1」「F2」ボタンで変更する項目に移動します。
- ③「F3」「F4」ボタンにて、年月日時分を変更し、「決定」ボタンで設定更新します。
設定更新したデータは、メイン画面の時刻表示に反映されます。

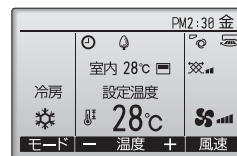
お知らせ 「時刻表示・週間スケジュール・タイマー動作・異常などの履歴」に必要なため、初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは必ず設定してください。

メイン画面表示設定

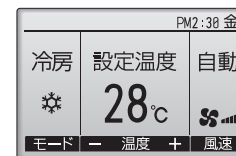
操作方法



- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、メイン画面表示設定を選択し「決定」ボタンを押すと、画面表示切換え画面が表示されます。
- ②「F3」「F4」ボタンにてメイン画面表示を設定します。(工場出荷時は詳細画面です。)



詳細画面 (例)



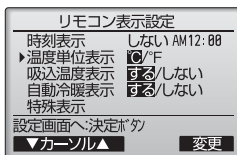
簡易画面 (例)

お知らせ 本設定によりメインメニュー画面など、他の画面は変わりません。簡易画面では「タイマー、スケジュールなどの(制御)状態を示すアイコン」や「風向・ルーバー・換気・室内温度」が表示されません。

初期設定（リモコン設定）

温度単位表示

操作方法



リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、**[F3]** **[F4]** ボタンにて設定します。（工場出荷時は摂氏（℃）です。）

- ・℃：温度表示単位を摂氏表示にします。
- ・°F：温度表示単位を華氏表示にします。

吸込温度の温度表示

操作方法

リモコン表示設定画面の、「吸込温度表示」にカーソルを合わせ、**[F3]** **[F4]** ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）

- ・する：メイン画面に室内温度を表示します。
- ・しない：メイン画面に室内温度を表示しません。

お知らせ 「する」に設定しても簡易画面には室内温度が表示されません。

自動冷暖表示

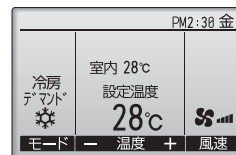
操作方法

リモコン表示設定画面の、「自動冷暖表示」にカーソルを合わせ、**[F3]** **[F4]** ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）

- ・する：自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」が表示されます。
- ・しない：自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

特殊表示

操作方法

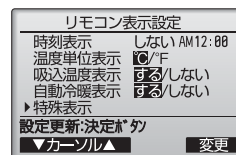


ユニットが以下の制御中は特殊表示として該当する制御名称がリモコンに表示されます。

- ・除湿（“除湿中”を表示）
- ・デマンド（“デマンド”を表示）
- ・圧縮機固定（“Comp固定”を表示）

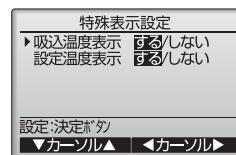
本機では、特殊表示中の吸込温度、設定温度の表示有無を設定することができます。

操作方法



リモコン表示設定画面で、特殊表示を選択して特殊表示設定画面を表示します。

特殊表示（除湿、デマンド、圧縮機固定表示）時の吸込温度、設定温度の表示有無を設定します。リモコンが特殊表示をしていない場合は本設定は無効となります。



[F1] **[F2]** ボタンにて吸込温度表示、設定温度表示を選択します。

[F3] **[F4]** ボタンにて設定します。（工場出荷時は「する」です。）

[決定] ボタンにより設定を更新します。

吸込温度表示

- ・する：特殊表示時、吸込温度が表示されます。
- ・しない：特殊表示時、吸込温度が表示されません。

お知らせ 「する」に設定しても簡易画面には吸込温度は表示されません。また、吸込温度の温度表示にて吸込温度表示「しない」を設定している場合は本設定内容によらず、吸込温度は表示されません。

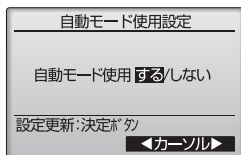
設定温度表示

- ・する：特殊表示時、設定温度が表示されます。
- ・しない：特殊表示時、設定温度が表示されません。

初期設定（リモコン設定）

自動モード設定

操作方法

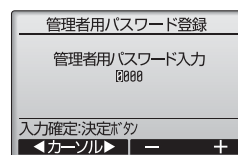


- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、自動モード設定を選択し **決定** ボタンを押すと自動モード使用設定画面が表示されます。
- ②自動運転モード機能のある室内ユニットに接続した場合、自動モード使用、不使用を **F3** **F4** ボタンにて設定します。（工場出荷時は使用「する」です。）
決定 ボタンにより設定を更新します。
 - ・する：運転モード選択時に自動モードを表示します。
 - ・しない：運転モード選択時に自動モードを表示しません。

※自動モードをリモコンに表示させるには、リモコンで自動モードを使用するに設定すること以外に室外ユニットのスイッチ設定を変更する必要があります。スイッチ設定の詳細については「設計工事マニュアル」「サービスハンドブック」を参照ください。

管理者用パスワード登録

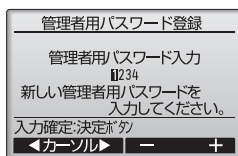
操作方法



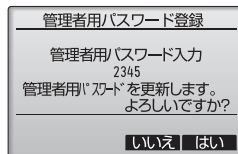
- ①メイン画面からメインメニュー→初期設定メニュー画面に移動し、管理者用パスワード登録を選択し **決定** ボタンを押すと、管理者用パスワード登録画面が表示されます。
- ②最初に現在設定されている管理者用のパスワード（数字4桁）を入力します。
F1 **F2** ボタンで桁を選択し、**F3** **F4** ボタンにて0～9の数字を設定します。
- ③4桁のパスワードを入力後、**決定** ボタンを押します。

お願い 管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ 管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて **F1** **F2** ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。



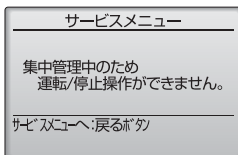
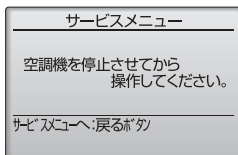
- ④パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。
同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、**決定** ボタンを押します。



- ⑤パスワード更新確認画面が表示されますので、**F4** (はい) ボタンにて更新します。
取り消す場合は **F3** (いいえ) ボタンを押します。

お知らせ 管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要となります。
・タイマー設定 ・週間スケジュール設定 ・制限設定 ・省エネ設定
各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

サービスメニュー



お知らせ
サービスメニューの項目によっては空調機を停止させる必要があります。
また、集中コントローラから集中管理中は操作できない場合があります。

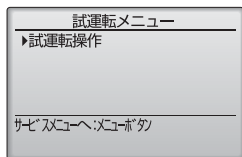


※サービスメニューを選択するとパスワード入力画面が表示されます。
現在設定されているサービス用のパスワード（数字4桁）を入力します。
[F1] [F2] ボタンで桁を選択し、[F3] [F4] ボタンにて0~9の数字を設定します。
4桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押します。
パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。

お願い サービス用パスワードの初期値は「9999」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ サービス用パスワードを忘れてしまった場合、サービス用パスワード入力画面にて [F1] [F2] ボタンを同時に3秒連続押しするとパスワードを「9999」に初期化できます。

試運転

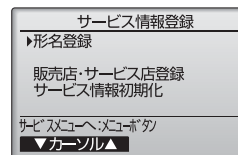


サービスメニューにて「試運転」を選択すると、試運転メニュー画面が表示されます。

・ 試運転操作：試運転をおこないます。

お知らせ 試運転の詳細については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

サービス情報登録



サービスメニューにて「サービス情報登録」を選択すると、サービス情報登録画面が表示されます。
操作方法の詳細については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

お知らせ サービス情報登録メニューでは下記の設定が行えます。

- ・ 形名登録
室外ユニット、室内ユニットの形名、製造番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。形名は半角18文字、製造番号は半角8文字まで入力できます。
- ・ 販売店・サービス店登録
販売店名、サービス店名および電話番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。店名は半角10文字、電話番号は半角13文字まで入力できます。
- ・ サービス情報初期化
形名登録内容、または販売店・サービス店登録を選択し、登録内容を全て初期化します。

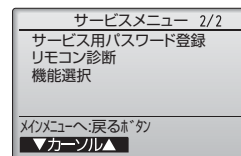
室内ユニットの機能選択

MAリモコンからの設定により、室内ユニットの余熱排除時間・モードを変更できます。
※本設定が有効中は、室内制御基板のSW3-6（余熱排除時間）設定は無効となります。

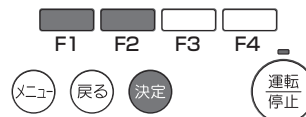
余熱排除時間変更の設定方法

設定方法

1



MAリモコンのサービスメニュー画面で、[F1] [F2] ボタンを操作し、「機能選択」を選択し、[決定] ボタンを押してください。



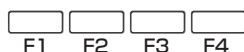
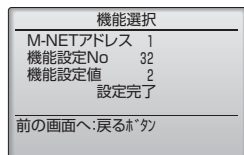
サービスメニュー

2



MAリモコンに接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスが検索されます。[F1][F2][F3][F4]ボタンを操作し、余熱排除モード・時間を変更したい室内ユニット（制御基板）のM-NETアドレスを設定し、機能設定No.を「32」、機能設定値を「2」、実行内容選択を「設定」に設定し、[決定]ボタンを押してください。

3



設定が完了すると画面中央に「設定完了」と表示されます。

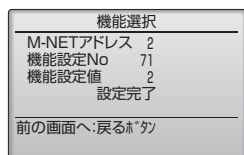
4



[戻る]ボタンを押し、機能選択画面に戻り、[F1][F2][F3][F4]を操作し、余熱排除モードを変更したい室内ユニット（制御基板）のM-NETアドレスを設定し、機能設定No.を「71」に、機能設定値を「下表から設定したいモードの設定値」に、実行内容選択を「設定」に設定し、[決定]ボタンを押してください。

機能設定No.	機能設定値
71	1: 暖房 2: 全モード

5



設定が完了すると画面中央に「設定完了」と表示されます。

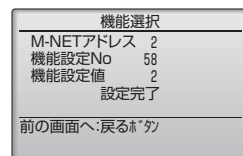
6



[戻る]ボタンを押し、機能選択画面に戻り、[F1][F2][F3][F4]を操作し、余熱排除時間を変更したい室内ユニット（制御基板）のM-NETアドレスを設定し、機能設定No.を「58」に、機能設定値を「下表から設定したい時間の設定値」に、実行内容選択を「設定」に設定し、[決定]ボタンを押してください。

機能設定No.	機能設定値
58	1: 1分 2: 2分 3: 3分5秒 4: 4分 5: 5分 6: 6分 7: 余熱排除なし

7



設定が完了すると画面中央に「設定完了」と表示されます。

- ※1 室内ユニット内に複数制御基板のある機種は、全ての制御基板の設定を2～7の操作により同一設定にしてください。
- ※2 室内制御基板をサービス交換した場合、再設定が必要です。室内制御基板を交換したときは、必ず1～7の操作により設定してください。その際、交換前の設定値が必要となるため、設定値を以下の表に記入しておいてください。

機能設定No.	機能設定値
58	
71	

- ※3 室内制御基板のSW3-6（余熱排除時間）の設定を有効にしたい場合、室内ユニット停止中に、2.3の操作と同様にして機能設定No.32の機能設定値を「1」に設定してください。このときMAリモコンから設定した余熱排除時間・モードは無効となります。また、再度MAリモコンからの余熱排除時間・モードを有効にしたい場合、1～7の操作により再設定してください。

サービスメニュー

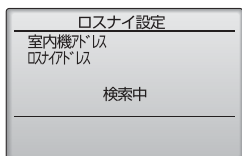
ロスナイ設定

設備パッケージエアコンでロスナイとの連動運転をおこなう場合のみ設定します。
リモコンが接続されている室内ユニットに対し設定（ロスナイ登録・登録した内容の検索・登録の抹消）を行うことができます。

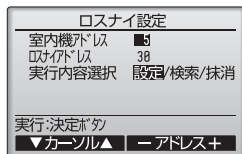
お願い

- ・集中コントローラが接続される場合は、集中コントローラより設定してください。
- ・ロスナイと連動設定させる場合、必ずグループ内全ての室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを連動設定してください。

操作手順



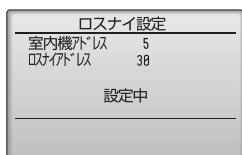
①サービスメニューにて「ロスナイ設定」を選択すると、自動的に現在リモコンが接続されている室内ユニットに登録されているロスナイのアドレス検索をおこないます。



②検索が完了すると、現在リモコンが接続されている室内ユニットの最小アドレスと登録されているロスナイのアドレスを表示します。
ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。

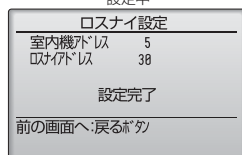
ここで設定する必要がなければ、「戻る」ボタンを押して、「サービスメニュー」に戻ります。

ロスナイを登録する場合



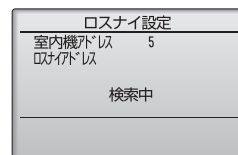
③室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを[F1]～[F4]ボタンにて設定し、「実行内容選択」で「設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。

「設定中」が表示され、正常に設定完了すると、「設定完了」が表示されます。



正常終了

ロスナイアドレスを検索する場合

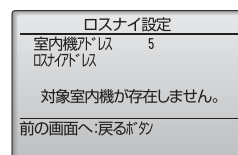


④ロスナイアドレスを検索したい場合は、リモコンが接続されている室内ユニットのアドレスを設定し、「実行内容選択」で「検索」を選択し、「決定」ボタンを押します。

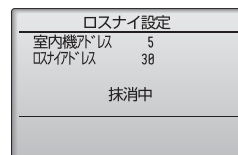
「検索中」が表示され、正常に設定を受信すると室内ユニットアドレスとロスナイアドレスを表示します。

ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。

指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません」を表示します。



ロスナイの登録を解除する場合



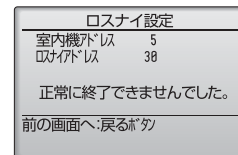
リモコンが接続されている室内ユニットとロスナイの登録設定を解除する場合に使用します。

⑤室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを[F1]～[F4]ボタンにて設定し、「実行内容選択」で「抹消」を選択し、「決定」ボタンを押します。

「抹消中」が表示され、正常に解除が完了すると検索結果画面に戻ります。

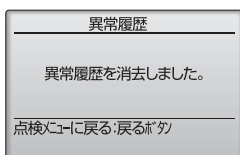
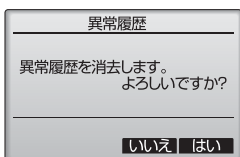
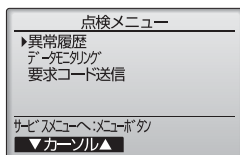
指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません」を表示します。

解除が正常におこなわれなかった場合は、「正常に終了できませんでした」を表示します。



サービスマニュー

点検



サービスマニューにて「点検」を選択すると、点検メニュー画面が表示されます。

①異常履歴

点検メニューにて「異常履歴」を選択し、**[決定]** ボタンを押すと異常履歴を最大16件表示します。各ページに4件ずつ表示され、1/4ページの先頭の表示が最新の異常履歴となります。

【異常履歴消去】

異常履歴が表示されている画面で**[F4]** (消去) ボタンを押すと、異常履歴消去の確認画面が表示されます。

[F4] (はい) ボタンを押します。

「異常履歴を消去しました」が表示されます。**[戻る]** ボタンを押して、点検メニュー画面に戻ります。

②他の点検メニュー項目

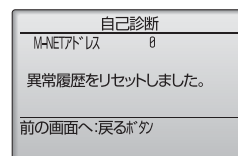
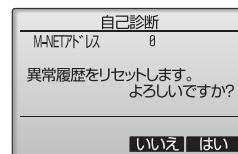
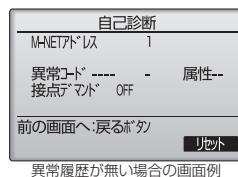
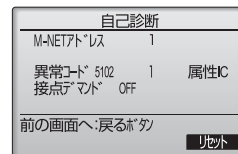
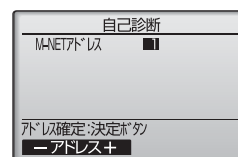
点検メニューでは、異常履歴の他に以下の項目があります。

- ・データモニタリング
- ・要求コード送信

自己診断

リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

操作手順



①サービスマニューにて「自己診断」を選択し、**[決定]** ボタンを押すと自己診断画面を表示します。

②**[F1]** **[F2]** ボタンにてM-NETアドレスを設定し、**[決定]** ボタンを押します。

③異常コード・M-NETアドレス・属性・室内ユニットの接点デマンドON/OFF状態が表示されます。異常履歴が無い場合は、「-」が表示されます。

【異常履歴リセット】

①異常履歴表示中に**[F4]** (リセット) ボタンを押すと確認画面が表示されます。

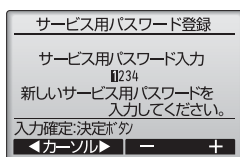
②確認画面にて**[F4]** (はい) ボタンを押すと室内ユニットの異常履歴を消去します。消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」ユニットから応答が無い場合は「対象室内ユニットが存在しません。」を表示します。

サービスマニュー

サービス用パスワード登録

サービスマニューの操作をおこなうためのパスワードを変更します。

操作手順



①サービスマニューにて「サービス用パスワード登録」を選択し、**決定** ボタンを押すと新規パスワード登録画面を表示します。

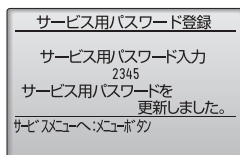
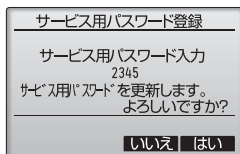
② **F1** **F2** ボタンで桁を選択し、**F3** **F4** ボタンにて0~9の数字を設定します。

③4桁のパスワードを入力後、**決定** ボタンを押します。

④パスワード更新確認画面が表示されますので、**F4** (はい) ボタンにて更新します。取り消す場合は **F3** (いいえ) ボタンを押します。

⑤パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。

⑥ **メニュー** ボタンにてサービスマニューへまたは **戻る** ボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻ります。



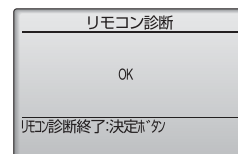
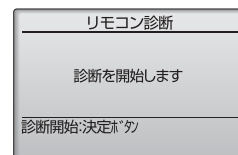
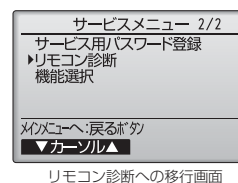
リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行ってください。

(1) まずはリモコン表示の有無を確認してください(野線含む)

リモコンに正常な電圧 (DC8.5~12V) が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。この場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。

操作手順



①サービスマニューにて「リモコン診断」を選択し、**決定** ボタンを押すとリモコン診断を開始し、結果を表示します。

リモコン診断を行わない時は、**メニュー** または **戻る** ボタンを押すと、リモコン診断メニューから抜けることができます。

この時、リモコンは再立上げを行いません。

OK : リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。

6832 : 伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。

NG (ALLO、ALL1) : リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。

ERC (データエラー数) : データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

②リモコン診断結果表示後、**決定** ボタンを押すとリモコン診断を終了し、自動的に再立上げが行われます。

故障かな?と思ったら

Q&A

下記のような Q&A を見ることができます。

- 代表的なトラブルシューティング
- 通常画面に表示されるアイコンの意味

操作方法

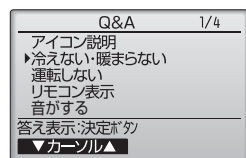
1



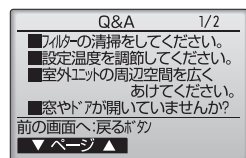
メインメニュー画面（13ページ参照）で「Q&A」を選択し、**決定** ボタンを押します。



2



F1 **F2** ボタンにて状況を選択し **決定** ボタンを押します。



選択した状況に対する、対応方法が表示されます。
項目により複数のページがある場合は、**F1** **F2** ボタンでページを切替えます。



画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る・・・**メニュー** ボタン
- 前の画面に戻る・・・**戻る** ボタン

運転温度範囲のめやす

■標準（床置・高COPタイプ、年間冷房中温タイプ）

・冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	-5~43℃（注2）
湿球温度	10~25℃（注1）	—

注1.露点温度23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。
注2.年間冷房中温タイプの場合は、-15~43℃となります。
注3.年間冷房中温タイプは除く。

・暖房（注3）

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	15~28℃	—
湿球温度	—	-20~15.5℃

■オールフレッシュタイプ

・冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	20~43℃
湿球温度	15~35℃	—

注1.室内側吸込空気温度が5℃以下の場合には、加湿器凍結防止のため、強制的に暖房運転することがあります。
注2.室内ユニット吸込空気を0℃以上となるように一次処理する場合は、室外側吸込空気湿球温度-20~15.5℃での運転が可能です。

・暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	0~20℃（注1）	—
湿球温度	—	-4~15.5℃（注2）

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- オールフレッシュタイプの場合、外気を直接吹き出す。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



使用禁止

室内温度を管理すること。

- オールフレッシュタイプの場合、停止時でも外気が流入する。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



指示を実行

お願い

ユニット側面の外気取入口より外気を導入する場合は、外気取入量を全体風量の10%以下としてください。

※オールフレッシュタイプの場合

室内ユニットに一次処理しない外気を直接取入れる場合、厳冬期に吸込口周辺が結露し、露が落ちる場合があります。このような場合は、室内ユニット周囲に防水処理を施すなどの処置をとってください。

お願い

ユニット背面の吸込ダクトフランジより室内空気と混合した外気を導入する場合は、十分混合すると共に「運転温度範囲のめやす」の室内側吸込空気の温度になるまで一次処理してください。

もっと知りたいとき

暖房運転について

- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。また、別売ベーパーパン加湿器を組込んだ場合は、水蒸気発生防止のため約3分間室内ファンが回ることがあります。

送風運転

- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

霜取中とは

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。
霜取運転は約7分程度（最大12分）で終わります。
- 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
※設定により霜取中も送風機が運転することがあります。
設定についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

換気連動運転とは

- エアコンの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

上手な使い方

上手な使い方 “インバーターエアコン” を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあると体調を悪くしたり、健康障害の原因になります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また、露付き・露たれの原因にもなります。
- フィルターは通常的环境下では21ページに記載の時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。
- 操作部(MAリモコン)は、フィルターサイン表示が可能です。



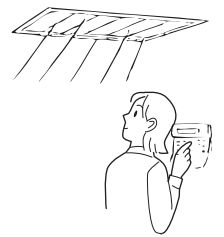
ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。
- 冷房・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気がで-す。



室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重いので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。
※床置形の風向調節は手動で行います。
(別売プレナムチャンバー取付時のみ)
(P140~800形)



データモニタリング機能

- 作業の手間を大幅に削減します。
- 室内に居ながら室外・内ユニットの運転データをリモコンで確認可能です。

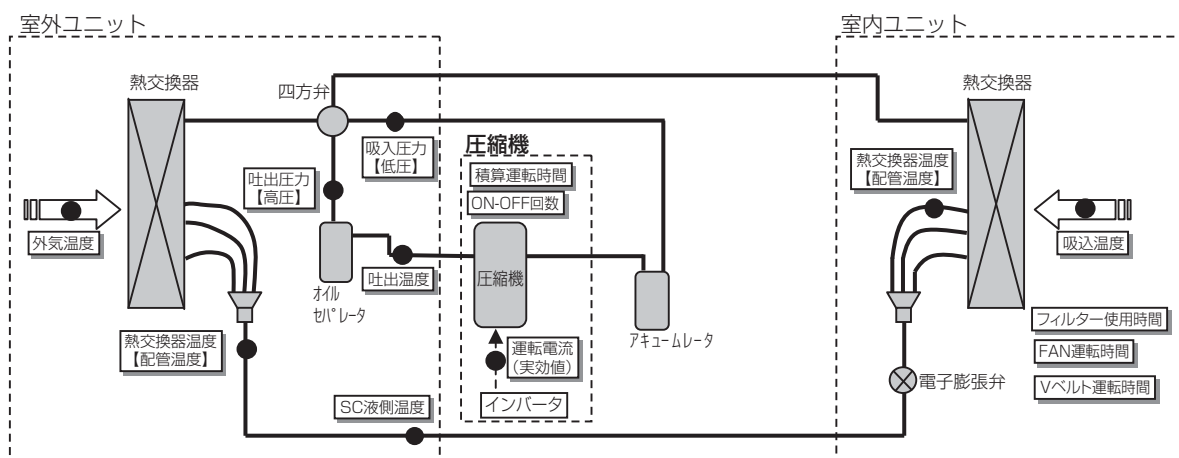
■メンテナンス情報

圧縮機	積算運転時間 ※3
	ON-OFF回数 ※2
	運転電流
室外ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	外気温度
	吐出圧力【高圧】
	吸入圧力【低圧】 ※5
	吐出温度
	高圧圧力飽和温度 ※5
SC液側温度 ※4 ※5	

室内ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	吸込温度 ※1
	フィルター使用時間
	FAN運転時間 ※3
Vベルト運転時間 ※3	

- ※1 オールフレッシュタイプの「吹出温度制御」時は、「吹出温度」を検知し表示します。
(表示項目は「吸込温度」のまま表示されます。)
- ※2 圧縮機ON-OFF回数は100回単位でデータ更新します。
例:実際の圧縮機ON-OFF回数が99回の場合、リモコン表示は0回となり、101回の場合、リモコン表示は100回となります。
- ※3 圧縮機積算時間、FAN運転時間、Vベルト運転時間は、10時間単位でデータ更新します。
例:実際の運転時間が9時間の場合リモコン表示は0時間となり、11時間の場合リモコン表示は10時間となります。
- ※4 DM-E(1)タイプの機種では、SC液側温度サーミスターがないため、SC液側温度は「未対応」と表示されます。
- ※5 室外ユニットがP140形では、吸入圧力[低圧]・高圧圧力飽和温度・SC液側温度は「未対応」と表示されます。

■メンテナンス情報イメージ



運転時間積算利用時の注意事項

(1) 端数の取扱い

通電が停止するとカウントされる前の端数 (FAN運転時間・Vベルト運転時間は1~9時間、圧縮機積算運転時間,フィルター使用時間は1~59分) は0に戻ります。
 運転時間積算を利用する時は、通電したままにしてください。
 なお、通電が停止してもすでにカウントされた積算時間 (FAN運転時間・Vベルト運転時間は10時間単位以上、圧縮機積算運転時間,フィルター使用時間は1時間単位以上) は保持されます。

(2) フィルター使用時間

“フィルター清掃”表示設定時はMAリモコン操作により使用時間がリセットできます。
 非表示設定時はリセットできません。(21ページ参照)

(3) PFAV-P670~1600(V) DM-E(1), 1000~1600(V) DM-E(1)-F, PFT-P670~1400(V) DM-E(1)のファン運転時間、Vベルト運転時間

室内ユニット1台に複数の基板がある機種のファン運転時間とVベルト運転時間は、No.1基板 (一番若いアドレス) で確認ください。

(1)メンテナンスモード操作方法

※データモニタリング機能を使用する時は室外・室内ユニットのパネルを外さないでください
(ユニットが運転した場合ケガをするおそれがあります)。

メンテナンスモードへの切り換え

メンテナンスモードには、運転中にのみ切り換えしてください。

※ユニット停止中・点検中はメンテナンスモードへ切り換えしないでください。

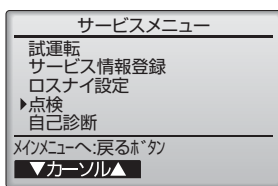
※試運転中は入れません。

※リモコン設定の場合は、メンテナンスモードには入れません。

※集中管理中はメンテナンスモードには入れません。

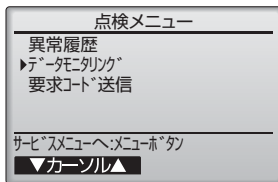
操作方法

1



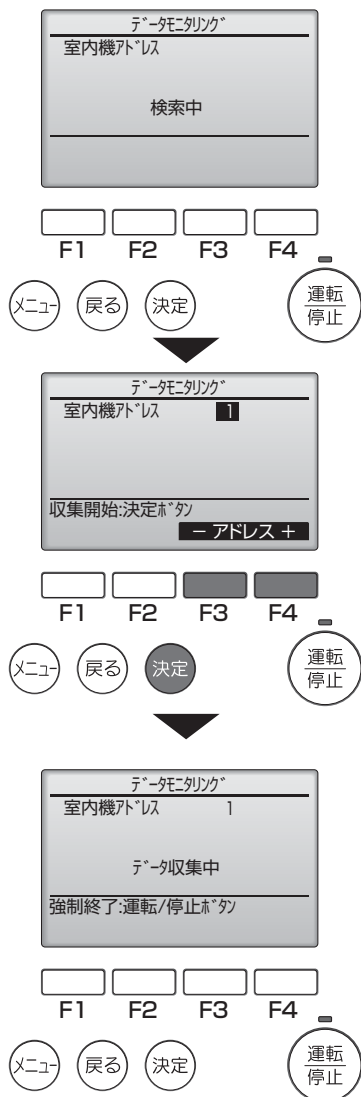
サービスメニュー画面で、**F1** **F2** ボタンを操作して「点検」を選択し、**決定** ボタンを押してください。

2



点検メニュー画面に移行し、**F1** **F2** ボタンを操作して「データモニタリング」を選択し、**決定** ボタンを押してください。

3



データモニタリング画面に移行し、MAリモコンに接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

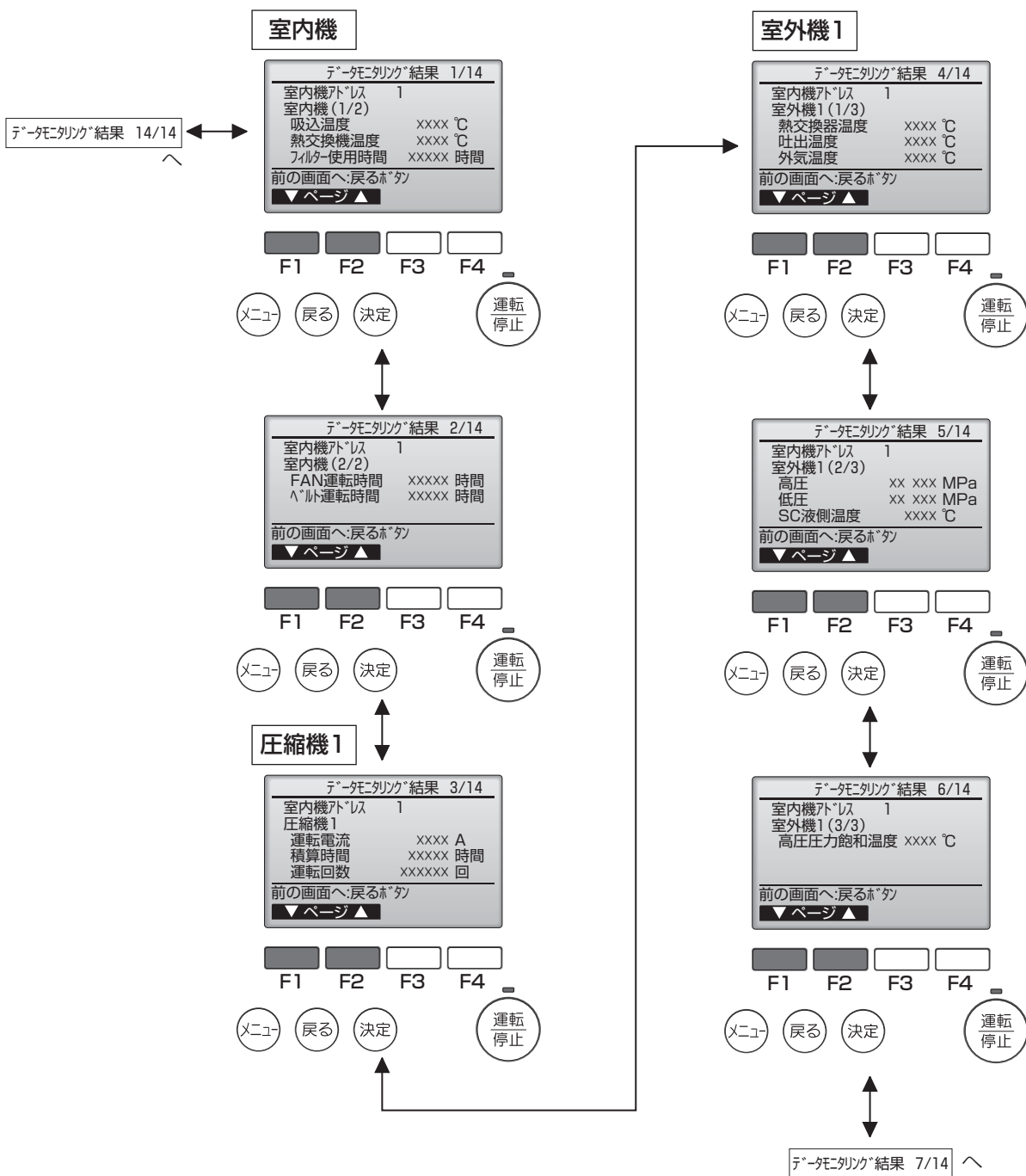
[F3][F4]ボタンを操作して室内ユニット（制御基板）アドレスを選定し、**決定**ボタンを押してください。

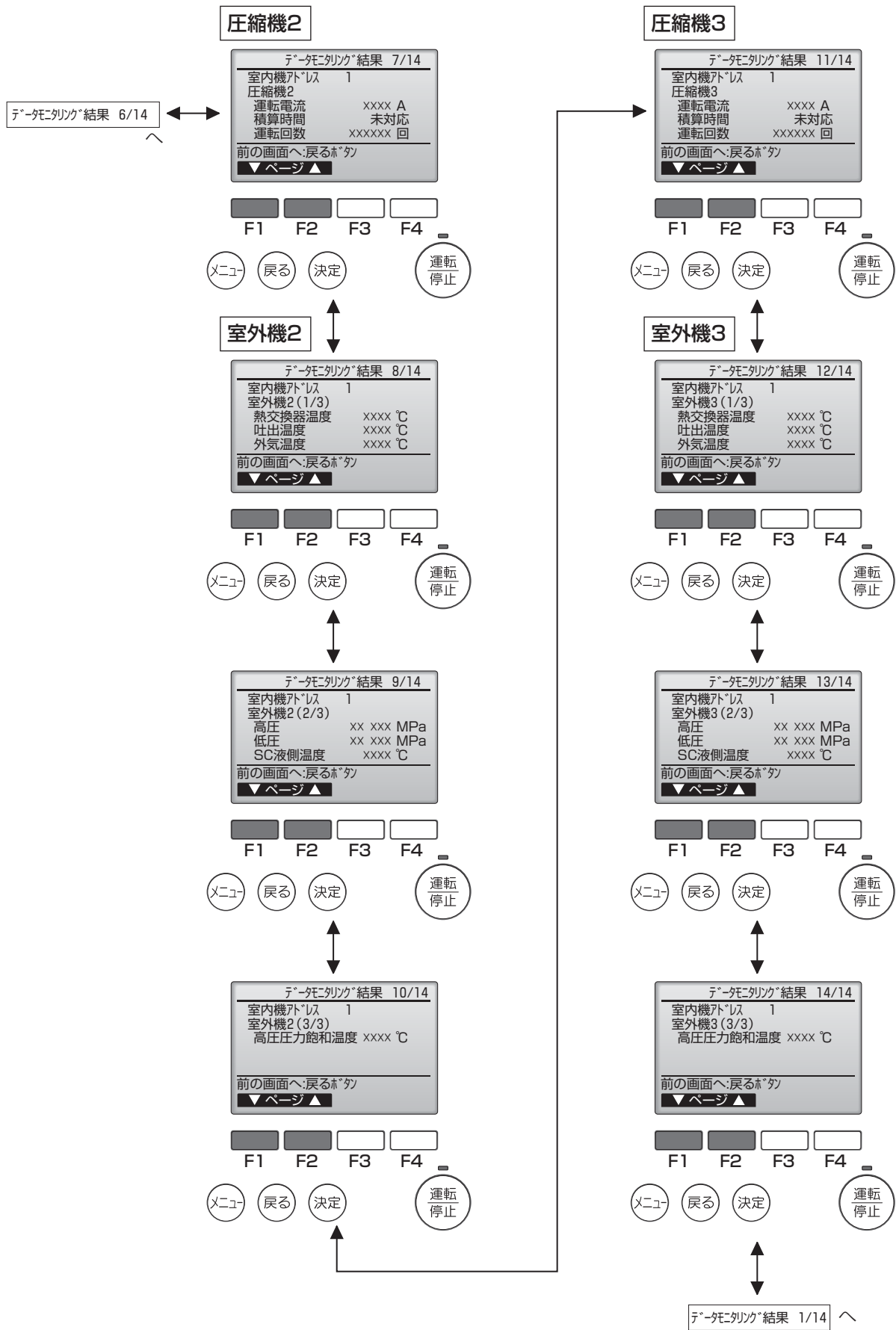
4

データの収集が開始され、約5分後データ収集が完了します。収集されるデータは、(3)で選択したアドレスの室内ユニット(制御基板)情報およびこの室内ユニットと同一冷媒系に接続された室外ユニットの情報になります。**[F1]****[F2]**ボタンを操作すると各ユニット情報が表示されます。

※圧縮機の運転電流はインバータから圧縮機への電流の実効値になります。
 ※DM-Eタイプの機種では、SC液側温度サーミスターがないため、SC液側温度は「未対応」と表示されます。
 ※室外ユニットがP140形では、吸入圧力[低压]・高压圧力飽和温度・SC液側温度は「未対応」と表示されます。

※ **[F1]****[F2]**ボタン操作により画面が遷移します。
 ※室外ユニット2(OS1)、室外ユニット3(OS2)が接続されていない場合は、室内機、圧縮機1、室外機1の内容のみ表示されます。

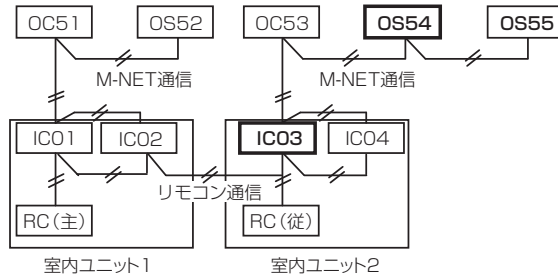




5

データモニタリングを解除する場合は、**メニュー**または**戻る**ボタンを押してください。

●操作例



室外ユニット、圧縮機のデータをモニタリングする場合、必ず各室外ユニットに接続されている(M-NET通信線)室内ユニットアドレスを選定してください。

—操作例—

■上記システムの室内ユニット2に接続された室外ユニット(OC53、OS54、OS55)の情報をモニターする場合

①室内ユニットアドレス**03**を設定します。

モニターする各ユニットの表示は下記となります。

- ・室内機 =IC03
- ・室外機1 =OC53
- ・室外機2 =OS54
- ・室外機3 =OS55
- ・圧縮機1 =OC53
- ・圧縮機2 =OS54
- ・圧縮機3 =OS55

※室内ユニットアドレス**01**設定時。

モニターする各ユニットの表示は下記となります。

- ・室内機 =IC01
- ・室外機1 =OC51
- ・室外機2 =OS52
- ・圧縮機1 =OC51
- ・圧縮機2 =OS52

※室内ユニットアドレス**01**、または**02**を設定している場合、IC03、04、OC53、OS54、OS55の情報はモニターできません。

データを個別にモニタしたい場合

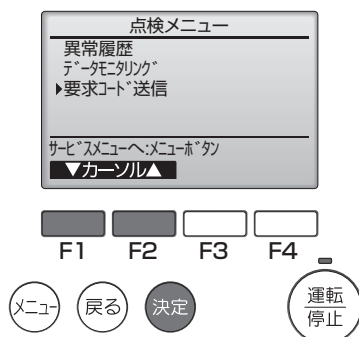
操作方法

1



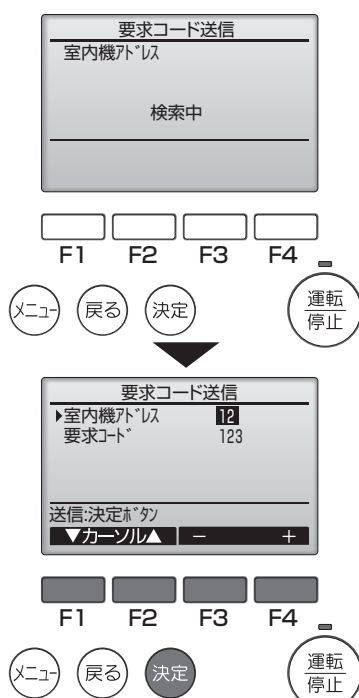
サービスメニュー画面で、**F1** **F2** ボタンを操作して「点検」を選択し、**決定** ボタンを押してください。

2



点検メニュー画面で、**F1** **F2** ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、**決定** ボタンを押してください。

3

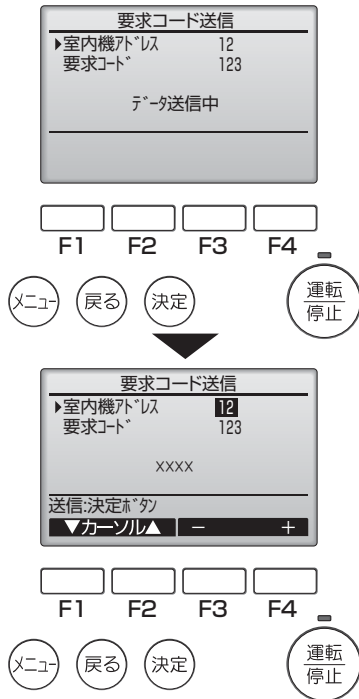


要求コード送信画面に遷移し、MAリモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

F1 **F2** **F3** **F4** ボタンを操作し、下表からモニタしたいユニット情報の項目の要求コードを設定し、**決定** ボタンを押してください。

データモニタ先	モニタ項目	要求コード	表示単位
圧縮機1	運転電流	1	A
	積算運転時間	2	hr
	ON-OFF回数	3	回
室外機1	吐出温度	4	℃
	外気温度	9	℃
	吐出圧力【高圧】	50	MPa
	吸込圧力【低圧】	51	MPa
	熱交換器温度【配管温度】	52	℃
	SC液側温度	84	℃
	高圧圧力飽和温度	97	℃
圧縮機2	運転電流	53	A
	積算運転時間	54	hr
	ON-OFF回数	55	回
室外機2	吐出温度	56	℃
	外気温度	57	℃
	吐出圧力【高圧】	59	MPa
	吸込圧力【低圧】	60	MPa
	熱交換器温度【配管温度】	61	℃
	SC液側温度	84	℃
	高圧圧力飽和温度	99	℃
圧縮機3	運転電流	62	A
	積算運転時間	63	hr
	ON-OFF回数	64	回
室外機3	吐出温度	65	℃
	外気温度	66	℃
	吐出圧力【高圧】	68	MPa
	吸込圧力【低圧】	69	MPa
	熱交換器温度【配管温度】	70	℃
	SC液側温度	84	℃
	高圧圧力飽和温度	101	℃
室内機	熱交換器温度【配管温度】	71	℃
	フィルター使用時間	73	hr
	吸込温度	74	℃
	FAN運転時間	154	hr
	Vベルト運転時間	155	hr

4

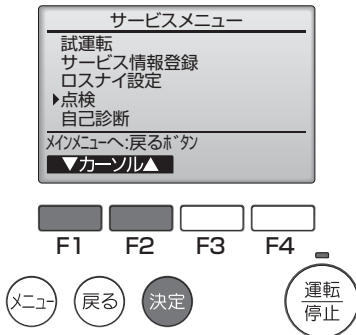


データの収集が始まり、約10~20秒後にモニタしたデータが表示されます。

ファン運転時間／ベルト運転時間リセット操作方法

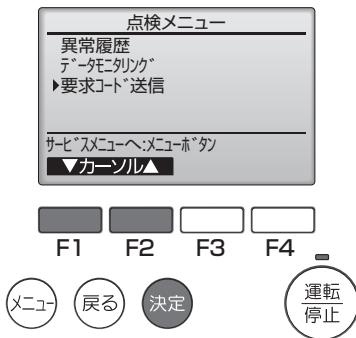
操作方法

1



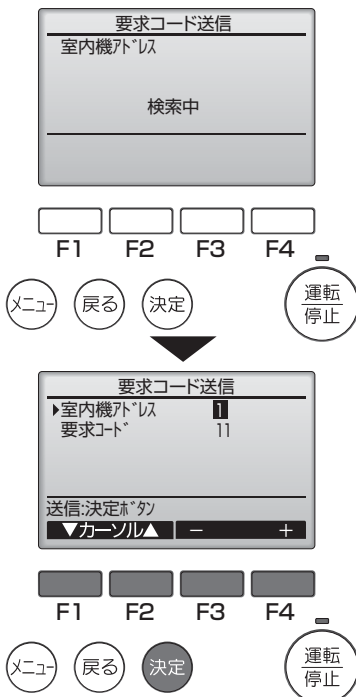
サービスメニュー画面で、**F1** **F2** ボタンを操作して「点検」を選択し、**決定** ボタンを押してください。

2



点検メニュー画面で、**F1** **F2** ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、**決定** ボタンを押してください。

3



要求コード送信画面に遷移し、MAリモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

F1 **F2** **F3** **F4** ボタンを操作し、リセットしたい室内ユニット（制御基板）のアドレス、および下表からリセットしたい情報の要求コードを設定し、**決定** ボタンを押してください。

データモニタ先	設定項目	要求コード	表示単位
室内機	FANモーター運転時間リセット	11	-
	Vベルト運転時間リセット	12	-

4

要求コード送信	
▶室内機アドレス	1
要求コード	11
データ送信中	

F1	F2	F3	F4



要求コード送信	
▶室内機アドレス	1
要求コード	11
0000	
送信:決定データ	
▼カーソル▲ - +	

F1	F2	F3	F4



データがリセットされます。

お手入れのしかた

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



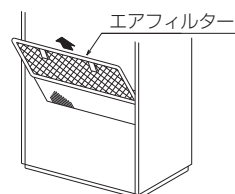
エアフィルターの清掃

• エアフィルターにゴミがたまると、冷暖房能力の低下や故障の原因になります。

1 エアフィルターを取外す。

※吸込パネルを開けた際、板金エッジ部、電子式リニア膨張弁コイル、温度センサー部、リモコンコネクター部に手が触れないようにしてください。

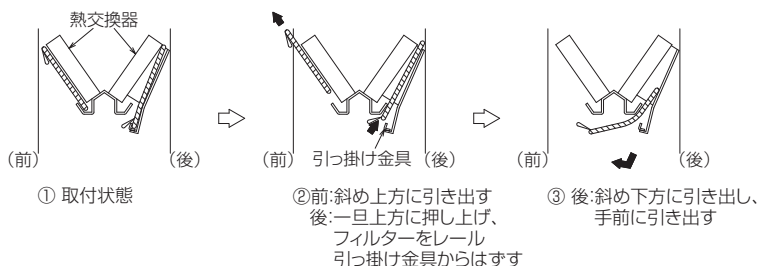
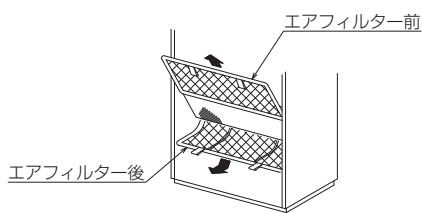
PFVA-P140・224・280・450・560形
PFVA-P167・265・335・530・670-F形
PFVA-EP224・280形
PFT-P140・224・280・P450・P560形の場合



1. 吸込パネル上部のネジ(2カ所)を外し、吸込パネルを手前に引いて開けてください。
2. 右図に従ってフィルターを取外してください。

PFVA-EP450・560形の場合

1. 本体下側の吸込パネルのツマミねじ(2カ所)を緩め、パネルを手前に倒し、左右の脱落防止金具を外してから手前上方に持ち上げて外してください。
 2. 左図に従ってフィルターを取外してください。
- ※エアフィルター後は、背面からでも取外し可能です。
詳しくは、ユニットドレンパンに貼り付けている説明書をご覧ください。



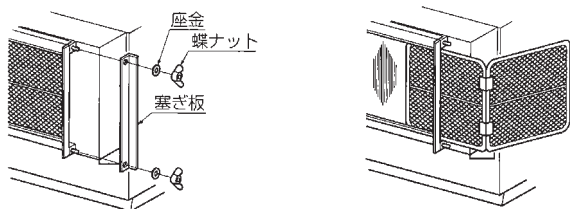
① 取付状態

②前:斜め上方に引き出す
後:一旦上方に押し上げ、
フィルターをレール
引っ掛け金具からはずす

③ 後:斜め下方に引き出し、
手前に引き出す

PFVA-P670・800形, PFVA-P1000-F形, PFT-P670・800形の場合

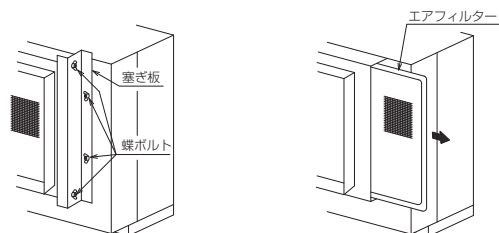
吸込フランジの内側に取付けられています。左右どちらからでも取出すことができます。



1. 吸込フランジの横側上下についている蝶ナットを緩め、塞ぎ板を取外します。
2. 吸込フランジの中に入っているフィルターを横へ引き出します。フィルターは2分割となっています。

PFVA-P1120・1400・1600形, PFVA-P1250・1600-F形, PFT-P1120・1400形の場合

吸込フランジの内側に取付けられています。左右どちらからでも取出すことができます。



1. 蝶ボルトをはずして、塞ぎ板を取外します。
2. 吸込フランジの中に入っているフィルターを横へ引出します。フィルターは3分割となっています。

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ホコリが目に入り、けがのおそれあり。



フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- けがのおそれあり。



お願い:

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

- ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

2 取外したエアフィルターのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
- 50℃以上の熱いお湯をかけないでください。変形することがあります。
- もみ洗いや強く絞ることはさけてください。
- すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。



3 水洗いしたときは、日陰でよく乾かす。

直射日光や直接火に当てて乾かさないでください。変形・変色することがあります。

4 エアフィルターを元どおりに取付ける。

パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布にふくませ
て拭き、最後に乾いた布で洗剤が残
らないように拭きとります。

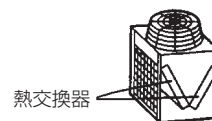


ベンジン・シンナーは使用
しない。



熱交換器の洗浄

長時間エアコンを使用しますと、エアコンの熱交換器にホコリな
どがつき、熱交換が悪くなって冷暖房能力が低下します。
洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。



ユニット内部品のお手入れ

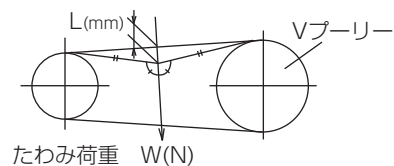
加湿器を組込んでご使用される場合、水質や使用条件によってはユニット内部の金属製部品が錆びることがあります
ので、加湿シーズン前後に確認し、錆がある場合はお買い上げの販売店もしくは保守点検契約を結んでいるサービ
ス会社にご相談ください。

Vベルトの張り調整

室内送風機のVベルトは、運転時間の経過と共に全長が伸びて張力が低下します。この状態で運転を続けると、変磨耗や異常音が発生し、故障の原因になります。Vプーリーの調整等詳細は、お買い上げの販売店にご相談ください。

【調整時期】

- ・初 回： 24～28時間後
- ・2回目以降： 2000時間毎
- ・交 換： 5000時間毎



ベルトの一本当りの張力は、たわみ量Lの値を下式にて計算し、その時のたわみ荷重Wが右表の範囲内になるようにセットしてください。

$$L=0.016 \times C \quad C: \text{プーリーの軸間距離(mm)}$$

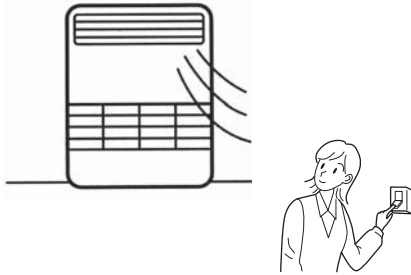
製品形名	モータープーリー(PCφ) 50/60Hz	ファンプーリー (PCφ)	Vベルト	たわみ荷重W(N/本) 50/60Hz
P140	93.9/77.9	180	A50・1本	9/9
(E)P224	132.6/116.7	212	A55・1本	13/13
(E)P280	140/116.7	212	A55・1本	13/13
P450	118/118	250	B44・1本	23/20
P560	118/118	236	B41・2本	20/18
EP450	118/118	280	B65・2本	13/11
EP560	135/135	280	B64・2本	18/16
P670	125/125	300	B53・2本	19/17
P800	145/145	300	B53・2本	25/22
P1120	160/160	355	B93・2本	29/25
P1400	165/165	355	C91・2本	42/37
P1600	165/165	355	C91・2本	42/37
P167-F	92.6/76.7	224	A53・1本	10/10
P265-F	140/116.7	280	A59・1本	13/13
P335-F	140/116.7	280	A59・1本	13/13
P530-F	118/118	280	B47・1本	16/14
P670-F	118/118	300	B47・1本	24/21
P1000-F	140/140	400	B62・2本	13/12
P1250-F	150/150	400	B95・2本	23/20
P1600-F	165/165	400	B97・2本	22/20

※新しいベルトを張る場合は、たわみ荷重Wの約1.15倍程度に調整するようにしてください。
 ※上記静風圧部品以外での組合わせのベルトたわみ荷重の値は、マニュアルなどを参照ください。

長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

(1) 4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。



(2) 室内・室外ユニットの電源を切る。

再度使い始めるとき

■下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

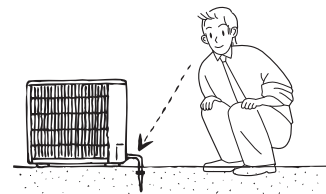
(1) フィルターを清掃して、取付ける。



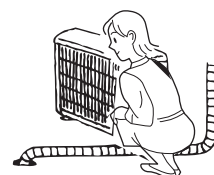
(2) 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



(3) アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。据付工事説明書を確認し対応してください。



(4) ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



(5) 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

保証とアフターサービス

■この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

下記は、以下のご使用条件の場合です。

- (1) 頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
- (2) 製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
 - ①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
 - ②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
 - ③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
 - ④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
 - ⑤頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24時間空調等）

表-1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年	アクティブフィルター (AF基板,RF基板,ACファン) 注3		4年
容器 (アキュムレータなど)		20,000時間			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

注3. 製品の運転時間が10時間/日、2500時間/年よりも長くなる場合のみ対象とします。

- 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
- 補修用品の保有期間について
このエアコンの補修用品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。
当社はこの基準により補修用品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。
- 電気部品に絶対に水（洗浄水等）をかけないでください。感電、発煙、発火の原因になります。

■消耗部品の交換周期目安【交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

表-2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間 注3	クランクケースヒーター		8年
平滑コンデンサー		10年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

注3. ファンベルトは定期的な調整が必要です。詳細は47ページをご参照ください。

■エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が完全に行われたことをサービスマンに確認してください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

- 当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事が出来ます。

■保証書について[保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

- 保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。[保証期間経過後の修理は有償になります。]
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

移設・工事・点検について

■移設について

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。



この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。エアコンの取外し時は、フロン類の回収が必要です。

■設置場所について

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

②次の場所への据付けは避けてください。

- ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ・粉や蒸気が多量に発生するところ
- ・酢（酢酸）を多量に使用するところ
- ・油煙のたちこめるところ
- ・海浜地区等塩分の多いところ
- ・湿気の多い場所
- ・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- ・高周波加工機のあるところ
- ・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
- ・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- ・炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ

など、エアコンの周囲雰囲気特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。

詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。

④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

- ①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
- ②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
- ③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
- ④据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

- ①据付けにあたっては、エアコンの質量に十分耐え、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- ②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- ③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- ④エアコンをご使用中、異常音がする場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

標準タイプ床置形 製品仕様表

(標準仕様)

50/60Hz

項目	形名		PFHV-P224DM-E		PFHV-P280DM-E		PFHV-P450DM-E		PFHV-P560DM-E				
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット			
電源	三相200V 50/60Hz												
冷房能力 (最大) (kW)	12.5(14.0)		20.0(22.4)		25.0(28.0)		40.0(45.0)		50.0(56.0)				
冷房消費電力 (kW)	3.85/3.84		5.74/5.73		7.14/7.14		-		-				
暖房能力 (最大) (kW)	14.0(16.0)		22.4(25.0)		28.0(31.5)		45.0(50.0)		56.0(63.0)				
暖房消費電力 (kW)	3.93/3.92		6.26/6.25		7.80/7.80		-		-				
通年エネルギー消費効率	4.7		4.7		4.7		-		-				
区分名	ao		ap		ap		-		-				
外形寸法 注3	高さ (mm)	1748	1350	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	1650		
	幅 (mm)	760	950	980	920	1200	920	1200	1750	1420	1750		
	奥行 (mm)	485	330	485	740	485	740	635	740	635	740		
風量 (m ³ /min) 注3	45		100	65	170	90	170	140	(180×2)	165	(200×2)		
騒音値 (dB) 注2	冷房	49		50	53		56	58		58/60	61	61/63	65
	暖房	52		53	56		58	58		58/60	61	61/63	65
製品質量 (kg) 注3	113		122	120	170	144	179	213	267	245	281		

項目	形名			PFHV-P800DM-E			PFHV-P1120DM-E				
	室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット			
電源	三相200V 50/60Hz										
冷房能力 (最大) (kW)	60.0(67.0)			71.0(80.0)			100(112)				
暖房能力 (最大) (kW)	63.0(71.0)			80.0(90.0)			112(126)				
外形寸法 注3	高さ (mm)	1830	1650	1650	1830	1650	1650	1852	1650	1650	
	幅 (mm)	1750	920	920	1750	920	1750	1825	920	1750	
	奥行 (mm)	1064	740	740	1064	740	740	1333	740	740	
風量 (m ³ /min) 注3	210		170	185	260	185	(180×2)	360	(185)×2	(180×2)	
騒音値 (dB) 注2	冷房	63		62	65		63.5		68	64.5	
	暖房	63		62	65		63.5		68	64.5	
製品質量 (kg) 注3	400		182	193	417	193	268	588	(193)×2	268	

項目	形名			PFHV-P1600DM-E			
	室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		
電源	三相200V 50/60Hz						
冷房能力 (最大) (kW)	125.0(140)			140(160)			
暖房能力 (最大) (kW)	140.0(160)			160(180)			
外形寸法 注3	高さ (mm)	1852	1650	1650	1852	1650	
	幅 (mm)	1825	920	1750	2045	920	1750
	奥行 (mm)	1333	740	740	1333	740	740
風量 (m ³ /min) 注3	450		185	(180×2)×2	520	(185)×2	(180×2)×2
騒音値 (dB) 注2	冷房	69		66	69		66.5
	暖房	69		66	69		66.5
製品質量 (kg) 注3	642		193	(268)×2	694	(193)×2	(268)×2

項目	形名		PFHV-P280DM-E1		PFHV-P450DM-E1		PFHV-P560DM-E1					
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット				
電源	三相200V 50/60Hz											
冷房能力 (最大) (kW)	20.0(22.4)		25.0(28.0)		40.0(45.0)		50.0(56.0)					
冷房消費電力 (kW)	5.74/5.74		7.14/7.14		-		-					
暖房能力 (最大) (kW)	22.4(25.0)		28.0(31.5)		45.0(50.0)		56.0(63.0)					
暖房消費電力 (kW)	6.26/6.26		7.80/7.80		-		-					
通年エネルギー消費効率	4.8		4.8		-		-					
区分名	ap		ap		-		-					
外形寸法 注3	高さ (mm)	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	1650			
	幅 (mm)	980	920	1200	920	1200	1750	1420	1750			
	奥行 (mm)	485	740	485	740	635	740	635	740			
風量 (m ³ /min) 注3	65		170	90	170	140	(180×2)	165	(200×2)			
騒音値 (dB) 注2	冷房	53		56	55		58	58/60		61	61/63	65
	暖房	53		56	55		58	58/60		61	61/63	65
製品質量 (kg) 注3	125		170	149	179	221	267	257	281			

項目	形名			PFHV-P800DM-E1			PFHV-P1120DM-E1				
	室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット			
電源	三相200V 50/60Hz										
冷房能力 (最大) (kW)	60.0(67.0)			71.0(80.0)			100(112)				
暖房能力 (最大) (kW)	63.0(71.0)			80.0(90.0)			112(126)				
外形寸法 注3	高さ (mm)	1830	1650	1650	1830	1650	1650	1852	1650	1650	
	幅 (mm)	1750	920	920	1750	920	1750	1825	920	1750	
	奥行 (mm)	1064	740	740	1064	740	740	1333	740	740	
風量 (m ³ /min) 注3	210		170	185	260	185	(180×2)	360	(185)×2	(180×2)	
騒音値 (dB) 注2	冷房	63		62	65		63.5		68	64.5	
	暖房	63		62	65		63.5		68	64.5	
製品質量 (kg) 注3	416		182	193	436	193	268	608	(193)×2	268	

項目	形名			PFHV-P1600DM-E1			
	室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		
電源	三相200V 50/60Hz						
冷房能力 (最大) (kW)	125.0(140)			140(160)			
暖房能力 (最大) (kW)	140.0(160)			160(180)			
外形寸法 注3	高さ (mm)	1852	1650	1650	1852	1650	
	幅 (mm)	1825	920	1750	2045	920	1750
	奥行 (mm)	1333	740	740	1333	740	740
風量 (m ³ /min) 注3	450		185	(180×2)×2	520	(185)×2	(180×2)×2
騒音値 (dB) 注2	冷房	69		66	69		66.5
	暖房	69		66	69		66.5
製品質量 (kg) 注3	668		193	(268)×2	720	(193)×2	(268)×2

注1. 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。
 注2. 上表の騒音値は、A特性です。
 注3. 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。
 注4. セット形名P1600形の室外構成ユニットは、(P400形+P450形)×2の2冷媒システムです。
 注5. 能力欄の()内は最大値を示します。

区分名

室内機の種類	冷房能力	区分名
ダクト形	20.0kW未満	ao
	20.0kW以上28.0kW以下	ap

上表は、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく
 経済産業省告示第213号(平成21年)による区分名を示す。

(異電圧仕様)※受注対応

50/60Hz

項目	PFHV-P140VCM-E1		PFHV-P224VCM-E1		PFHV-P280VCM-E1		PFHV-P450VCM-E1		PFHV-P560VCM-E1		
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	
電源	三相 380V, 400V, 415V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz										
冷房能力(最大)(kW)	12.5(14.0)		20.0(22.4)		25.0(28.0)		40.0(45.0)		50.0(56.0)		
冷房消費電力(kW)	3.85/3.84		5.74/5.73		7.14/7.14		-		-		
暖房能力(最大)(kW)	14.0(16.0)		22.4(25.0)		28.0(31.5)		45.0(50.0)		56.0(63.0)		
暖房消費電力(kW)	3.93/3.92		6.26/6.25		7.80/7.80		-		-		
通年エネルギー消費効率	4.7		4.5		4.5		-		-		
区分名	ao		ap		ap		-		-		
外形寸法 注3	高さ(mm)	1748	1350	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	1650
	幅(mm)	760	950	980	920	1200	920	1200	1750	1420	1750
	奥行(mm)	485	330	485	760	485	760	635	760	635	760
風量(m ³ /min)注3	45		100		65		185		140		(180×2)
騒音値(dB) 注2	冷房	49		50		53		55		58	
	暖房	52		53		56		58		61	
製品質量(kg)注3	123		130		130		190		154		205

項目	PFHV-P670VCM-E1			PFHV-P800VCM-E1			PFHV-P1120VCM-E1			
	室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		
電源	三相 380V, 400V, 415V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz									
冷房能力(最大)(kW)	60.0(67.0)			71.0(80.0)			100(112)			
暖房能力(最大)(kW)	63.0(71.0)			80.0(90.0)			112(126)			
外形寸法 注3	高さ(mm)	1830	1650	1650	1830	1650	1650	1852	1650	1650
	幅(mm)	1750	920	920	1750	920	1750	1825	920	1750
	奥行(mm)	1064	760	760	1064	760	760	1333	760	760
風量(m ³ /min)注3	210		185	185	260	185	(180×2)	360	(185)×2	(180×2)
騒音値(dB) 注2	冷房	63			62			65		
	暖房	62			65			63.5		
製品質量(kg)注3	410	210	230	427	230	310	598	(230)×2	310	

項目	PFHV-P1400VCM-E1			PFHV-P1600VCM-E1			
	室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		
電源	三相 380V, 400V, 415V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz						
冷房能力(最大)(kW)	125(140)			140(160)			
暖房能力(最大)(kW)	140(160)			160(180)			
外形寸法 注3	高さ(mm)	1852	1650	1650	1852	1650	
	幅(mm)	1825	920	1750	2045	920	
	奥行(mm)	1333	760	760	1333	760	
風量(m ³ /min)注3	450		185	(180×2)×2	520	(185)×2	
騒音値(dB) 注2	冷房	69			66		
	暖房	66			69		
製品質量(kg)注3	652	230	(310)×2	704	(230)×2	(310)×2	

注1.上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。
 注2.上表の騒音値は、A特性です。
 注3.外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。
 注4.セット形名P1600形の室外構成ユニットは、(P400形+P450形)×2の2冷媒システムです。
 注5.能力欄の()内は最大値を示します。

区分名	室内機の種類	冷房能力	区分名
	ダクト形	20.0kW未満	ao
		20.0kW以上28.0kW以下	ap

上表は、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示第213号(平成21年)による区分名を示す。

オールフレッシュタイプ床置形 製品仕様表

(標準仕様)

50/60Hz

項目	PFHV-P167DM-E-F		PFHV-P265DM-E-F		PFHV-P335DM-E-F		PFHV-P530DM-E-F		PFHV-P670DM-E-F				
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット			
電源	PFHV-P167DM-E-F PUHV-P140DM-E PFHV-P265DM-E-F PUHV-P224DM-E PFHV-P335DM-E-F PUHV-P280DM-E PFHV-P530DM-E-F PUHV-P450DM-E PFHV-P670DM-E-F PUHV-P560DM-E												
電源	三相200V 50/60Hz												
冷房能力(最大)(kW)	14.0(16.7)		22.4(26.5)		28.0(33.5)		45.0(53.0)		56.0(67.0)				
暖房能力(最大)(kW)	12.5(14.0)		20.0(22.4)		26.5(28.0)		40.0(45.0)		50.0(56.0)				
外形寸法 注3	高さ(mm)	1748	1350	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	1650		
	幅(mm)	760	950	980	920	1200	920	1200	1750	1420	1750		
	奥行(mm)	485	330	485	740	485	740	635	740	635	740		
風量 (m ³ /min)注3	20		100		35		45		70		(180×2)		
騒音値(dB) 注2	冷房	40		50		47		56		48.5		58	
	暖房	52		47		56		48.5		58		48/50	
製品質量 (kg)注3	115		122		123		170		147		179		

項目	PFHV-P1000DM-E-F				PFHV-P1250DM-E-F				PFHV-P1600DM-E-F				
	室内ユニット		室外ユニット		室内ユニット		室外ユニット		室内ユニット		室外ユニット		
電源	PFHV-P1000DM-E-F PUHV-P400SDM-E PUHV-P450SDM-E PFHV-P1250DM-E-F PUHV-P335SDM-E×2台 PUHV-P450SDM-E PFHV-P1600DM-E-F PUHV-P400SDM-E PUHV-P500SDM-E×2台												
電源	三相200V 50/60Hz												
冷房能力(最大)(kW)	80.0(100)				112(125)				140(160)				
暖房能力(最大)(kW)	71.0(80)				90(100)				112(125)				
外形寸法 注3	高さ(mm)	1830	1650	1650	1852	1650	1650	1852	1650	1852	1650	1650	
	幅(mm)	1750	920	1750	1825	920	1750	1825	920	1750	1825	920	
	奥行(mm)	1064	740	740	1333	740	740	1333	740	1333	740	740	
風量 (m ³ /min)注3	120		185		(180×2)		150		(185)×2		(180×2)×2		
騒音値(dB) 注2	冷房	57		63.5		58		64.5		60		66	
	暖房	57		63.5		58		64.5		60		66	
製品質量 (kg)注3	401		193		268		534		(193)×2		268		

項目	PFHV-P265DM-E1-F		PFHV-P335DM-E1-F		PFHV-P530DM-E1-F		PFHV-P670DM-E1-F		
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	
電源	PFHV-P265DM-E1-F PUHV-P224DM-E PFHV-P335DM-E1-F PUHV-P280DM-E PFHV-P530DM-E1-F PUHV-P450DM-E PFHV-P670DM-E1-F PUHV-P560DM-E								
電源	三相200V 50/60Hz								
冷房能力(最大)(kW)	22.4(26.5)		28.0(33.5)		45.0(53.0)		56.0(67.0)		
暖房能力(最大)(kW)	20.0(22.4)		26.5(28.0)		40.0(45.0)		50.0(56.0)		
外形寸法 注3	高さ(mm)	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	
	幅(mm)	980	920	1200	920	1200	1750	1420	
	奥行(mm)	485	740	485	740	635	740	635	
風量 (m ³ /min)注3	35		170		45		170		
騒音値(dB) 注2	冷房	47		56		48.5		58	
	暖房	56		48.5		58		48/50	
製品質量 (kg)注3	128		170		152		179		

項目	PFHV-P1000DM-E1-F				PFHV-P1250DM-E1-F				PFHV-P1600DM-E1-F				
	室内ユニット		室外ユニット		室内ユニット		室外ユニット		室内ユニット		室外ユニット		
電源	PFHV-P1000DM-E1-F PUHV-P400SDM-E PUHV-P450SDM-E PFHV-P1250DM-E1-F PUHV-P335SDM-E×2台 PUHV-P450SDM-E PFHV-P1600DM-E1-F PUHV-P400SDM-E PUHV-P500SDM-E×2台												
電源	三相200V 50/60Hz												
冷房能力(最大)(kW)	80.0(100)				112(125)				140(160)				
暖房能力(最大)(kW)	71.0(80)				90(100)				112(125)				
外形寸法 注3	高さ(mm)	1830	1650	1650	1852	1650	1650	1852	1650	1852	1650	1650	
	幅(mm)	1750	920	1750	1825	920	1750	1825	920	1750	1825	920	
	奥行(mm)	1064	740	740	1333	740	740	1333	740	1333	740	740	
風量 (m ³ /min)注3	120		185		(180×2)		150		(185)×2		(180×2)×2		
騒音値(dB) 注2	冷房	57		63.5		58		64.5		60		66	
	暖房	57		63.5		58		64.5		60		66	
製品質量 (kg)注3	413		193		268		551		(193)×2		268		

(異電圧仕様) ※受注対応

50/60Hz

項目	PFHV-P167VCM-E1-F		PFHV-P265VCM-E1-F		PFHV-P335VCM-E1-F		PFHV-P530VCM-E1-F		PFHV-P670VCM-E1-F				
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット			
電源	PFHV-P167VCM-E1-F PUHV-P140VCM-E1 PFHV-P265VCM-E1-F PUHV-P224VCM-E1 PFHV-P335VCM-E1-F PUHV-P280VCM-E1 PFHV-P530VCM-E1-F PUHV-P450VCM-E1 PFHV-P670VCM-E1-F PUHV-P560VCM-E1												
電源	三相 380V, 400V, 415V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz												
冷房能力(最大)(kW)	14.0(16.7)		22.4(26.5)		28.0(33.5)		45.0(53.0)		56.0(67.0)				
暖房能力(最大)(kW)	12.5(14.0)		20.0(22.4)		26.5(28.0)		40.0(45.0)		50.0(56.0)				
外形寸法 注3	高さ(mm)	1748	1350	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	1650		
	幅(mm)	760	950	980	920	1200	920	1200	1750	1420	1750		
	奥行(mm)	485	330	485	760	485	760	635	760	635	760		
風量 (m ³ /min)注3	20		100		35		45		70		(180×2)		
騒音値(dB) 注2	冷房	40		50		47		56		48.5		58	
	暖房	52		47		56		48.5		58		48/50	
製品質量 (kg)注3	125		130		133		190		157		205		

項目	PFHV-P1000VCM-E1-F				PFHV-P1250VCM-E1-F				PFHV-P1600VCM-E1-F				
	室内ユニット		室外ユニット		室内ユニット		室外ユニット		室内ユニット		室外ユニット		
電源	PFHV-P1000VCM-E1-F PUHV-P400VSCM-E1 PUHV-P450VSCM-E1 PFHV-P1250VCM-E1-F PUHV-P335VSCM-E1×2台 PUHV-P450VSCM-E1 PFHV-P1600VCM-E1-F PUHV-P400VSCM-E1 PUHV-P500VSCM-E1×2台												
電源	三相 380V, 400V, 415V 50Hz/400V, 415V, 440V 60Hz												
冷房能力(最大)(kW)	80.0(100)				112(125)				140(160)				
暖房能力(最大)(kW)	71.0(80)				90(100)				112(125)				
外形寸法 注3	高さ(mm)	1830	1650	1650	1852	1650	1650	1852	1650	1852	1650	1650	
	幅(mm)	1750	920	1750	1825	920	1750	1825	920	1750	1825	920	
	奥行(mm)	1064	760	760	1333	760	760	1333	760	1333	760	760	
風量 (m ³ /min)注3	120		185		(180×2)		150		(185)×2		(180×2)×2		
騒音値(dB) 注2	冷房	57		63.5		58		64.5		60		66	
	暖房	57		63.5		58		64.5		60		66	
製品質量 (kg)注3	411		230		310		544		(230)×2		310		

注1.上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。
 注2.上表の騒音値は、A特性です。
 注3.外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。
 注4.能力欄の()内は最大値を示します。

高COPタイプ床置形 製品仕様表

(標準仕様)

50/60Hz

項目	PFHV-EP224DM-E		PFHV-EP280DM-E		PFHV-EP450DM-E		PFHV-EP560DM-E			
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット		
電源	PFHV-EP224DM-E		PFHV-EP280DM-E		PFHV-EP450DM-E		PFHV-EP560DM-E			
冷房能力 (最大) (kW)	20.0(22.4)		25.0(28.0)		40.0(45.0)		50.0(56.0)			
冷房消費電力 (kW)	5.42/5.41		6.69/6.69		-		-			
暖房能力 (最大) (kW)	22.4(25.0)		28.0(31.5)		45.0(50.0)		56.0(63.0)			
暖房消費電力 (kW)	5.74/5.73		7.23/7.23		-		-			
通年エネルギー消費効率	4.8		4.8		-		-			
区分名	ap		ap		-		-			
外形寸法 注3	高さ (mm)	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	1650	1650
	幅 (mm)	980	920	1200	1220	1200	920	1420	920	1220
	奥行 (mm)	485	740	485	740	635	740	635	740	740
風量 (m ³ /min) 注3	65	170	90	200	140	(170)×2	165	170	200	
騒音値(dB) 注2	冷房	53	58	55	60	57/60	61	57/60	63	
	暖房									
製品質量 (kg) 注3	120	181	144	209	246	(184)×2	255	184	222	

(異電圧仕様) ※受注対応

50/60Hz

項目	PFHV-EP224VCM-E1		PFHV-EP280VCM-E1		PFHV-EP450VCM-E1		PFHV-EP560VCM-E1			
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット		
電源	PFHV-EP224VDM-E		PFHV-EP280VDM-E		PFHV-EP450VDM-E		PFHV-EP560VDM-E			
冷房能力 (最大) (kW)	20.0(22.4)		25.0(28.0)		40.0(45.0)		50.0(56.0)			
冷房消費電力 (kW)	5.42/5.41		6.69/6.69		-		-			
暖房能力 (最大) (kW)	22.4(25.0)		28.0(31.5)		45.0(50.0)		56.0(63.0)			
暖房消費電力 (kW)	5.74/5.73		7.23/7.23		-		-			
通年エネルギー消費効率	4.6		4.7		-		-			
区分名	ap		ap		-		-			
外形寸法 注3	高さ (mm)	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	1650	1650
	幅 (mm)	980	920	1200	1220	1200	920	1420	920	1220
	奥行 (mm)	485	760	485	760	635	760	635	760	760
風量 (m ³ /min) 注3	65	185	90	225	140	(185)×2	165	185	225	
騒音値(dB) 注2	冷房	53	58	55	60	57/60	61	57/60	63	
	暖房									
製品質量 (kg) 注3	130	205	154	265	256	(210)×2	265	210	270	

注1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。
 注2 上表の騒音値は、A特性です。
 注3 外形寸法、風量、製品質量は一台あたりの値を示します。
 注4 能力欄の()内は最大値を示します。

区分名	室内機の種類	冷房能力	区分名
	ダクト形	20.0kW以上28.0kW以下	ap

上表は、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく
 経済産業省告示第213号(平成21年)による区分名を示す。

年間冷房中温タイプ床置形 製品仕様表

(標準仕様)

50/60Hz

項目	PFTV-P140DM-E		PFTV-P224DM-E		PFTV-P280DM-E		PFTV-P450DM-E		PFTV-P560DM-E		
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	
電源	PFT-P140DM-E PUTV-P140DM-E PFT-P224DM-E PUTV-P224DM-E PFT-P280DM-E PUTV-P280DM-E PFT-P450DM-E PUTV-P450DM-E PFT-P560DM-E PUTV-P560DM-E										
冷房能力 (最大) (kW)	12.5 (14.0)		20.0 (22.4)		25.0 (28.0)		40.0 (45.0)		50.0 (56.0)		
外形寸法 注3	高さ (mm)	1748	1350	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	1650
	幅 (mm)	760	950	980	920	1200	920	1200	1750	1420	1750
	奥行 (mm)	485	330	485	740	485	740	635	740	635	740
風量 (m ³ /min) 注3	45	100	65	170	90	170	140	(180×2)	165	(200×2)	
騒音値 (dB) 注2	冷房	49	50	53	56	55	58	58/60	61	61/63	65
製品質量 (kg) 注3	113	122	120	170	144	179	213	267	245	281	

項目	PFTV-P670DM-E			PFTV-P800DM-E			PFTV-P1120DM-E			
	室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		
電源	PFT-P670DM-E PUTV-P280SDM-E PUTV-P400SDM-E PFT-P800DM-E PUTV-P400SDM-E PUTV-P450SDM-E PFT-P1120DM-E PUTV-P335SDM-E×2台 PUTV-P450SDM-E									
冷房能力 (最大) (kW)	60.0 (67.0)			71.0 (80.0)			100 (112)			
外形寸法 注3	高さ (mm)	1830	1650	1650	1830	1650	1650	1852	1650	1650
	幅 (mm)	1750	920	920	1750	920	1750	1825	920	1750
	奥行 (mm)	1064	740	740	1064	740	740	1333	740	740
風量 (m ³ /min) 注3	210	170	185	260	185	(180×2)	360	(185)×2	(180×2)	
騒音値 (dB) 注2	冷房	63	62	65	63.5	68	64.5			
製品質量 (kg) 注3	400	182	193	417	193	268	588	(193)×2	268	

項目	PFTV-P1400DM-E		
	室内ユニット	室外ユニット	
電源	PFT-P1400DM-E PUTV-P400SDM-E PUTV-P500SDM-E×2台		
冷房能力 (最大) (kW)	125.0 (140)		
外形寸法 注3	高さ (mm)	1852	1650
	幅 (mm)	1825	920
	奥行 (mm)	1333	740
風量 (m ³ /min) 注3	450	185	(180×2)×2
騒音値 (dB) 注2	冷房	69	66
製品質量 (kg) 注3	642	193	(268)×2

項目	PFTV-P224DM-E1		PFTV-P280DM-E1		PFTV-P450DM-E1		PFTV-P560DM-E1		
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	
電源	PFT-P224DM-E1 PUTV-P224DM-E PFT-P280DM-E1 PUTV-P280DM-E PFT-P450DM-E1 PUTV-P450DM-E PFT-P560DM-E1 PUTV-P560DM-E								
冷房能力 (最大) (kW)	20.0 (22.4)		25.0 (28.0)		40.0 (45.0)		50.0 (56.0)		
外形寸法 注3	高さ (mm)	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	1650
	幅 (mm)	980	920	1200	920	1200	1750	1420	1750
	奥行 (mm)	485	740	485	740	635	740	635	740
風量 (m ³ /min) 注3	65	170	90	170	140	(180×2)	165	(200×2)	
騒音値 (dB) 注2	冷房	53	56	55	58	58/60	61	61/63	65
製品質量 (kg) 注3	124	170	148	179	221	267	257	281	

項目	PFTV-P670DM-E1			PFTV-P800DM-E1			PFTV-P1120DM-E1			
	室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		
電源	PFT-P670DM-E1 PUTV-P280SDM-E PUTV-P400SDM-E PFT-P800DM-E1 PUTV-P400SDM-E PUTV-P450SDM-E PFT-P1120DM-E1 PUTV-P335SDM-E×2台 PUTV-P450SDM-E									
冷房能力 (最大) (kW)	60.0 (67.0)			71.0 (80.0)			100 (112)			
外形寸法 注3	高さ (mm)	1830	1650	1650	1830	1650	1650	1852	1650	1650
	幅 (mm)	1750	920	920	1750	920	1750	1825	920	1750
	奥行 (mm)	1064	740	740	1064	740	740	1333	740	740
風量 (m ³ /min) 注3	210	170	185	260	185	(180×2)	360	(185)×2	(180×2)	
騒音値 (dB) 注2	冷房	63	62	65	63.5	68	64.5			
製品質量 (kg) 注3	412	182	193	432	193	268	606	(193)×2	268	

項目	PFTV-P1400DM-E1		
	室内ユニット	室外ユニット	
電源	PFT-P1400DM-E1 PUTV-P400SDM-E PUTV-P500SDM-E×2台		
冷房能力 (最大) (kW)	125.0 (140)		
外形寸法 注3	高さ (mm)	1852	1650
	幅 (mm)	1825	920
	奥行 (mm)	1333	740
風量 (m ³ /min) 注3	450	185	(180×2)×2
騒音値 (dB) 注2	冷房	69	66
製品質量 (kg) 注3	666	193	(268)×2

注1. 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。
 注2. 上表の騒音値は、A特性です。
 注3. 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。
 注4. 能力欄の()内は最大値を示します。

(異電圧仕様) ※受注対応

50/60Hz

項目	PFTV-P140VCM-E1		PFTV-P224VCM-E1		PFTV-P280VCM-E1		PFTV-P450VCM-E1		PFTV-P560VCM-E1		
	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	
電源	PFT-P140VDM-E PUTV-P140VCM-E1 PFT-P224VDM-E PUTV-P224VCM-E1 PFT-P280VDM-E PUTV-P280VCM-E1 PFT-P450VDM-E PUTV-P450VCM-E1 PFT-P560VDM-E PUTV-P560VCM-E1										
冷房能力 (最大) (kW)	12.5(14.0)		20.0(22.4)		25.0(28.0)		40.0(45.0)		50.0(56.0)		
外形寸法 注3	高さ (mm)	1748	1350	1748	1650	1748	1650	1899	1650	1899	1650
	幅 (mm)	760	950	980	920	1200	920	1200	1750	1420	1750
	奥行 (mm)	485	330	485	760	485	760	635	760	635	760
風量 (m ³ /min) 注3	45	100	65	185	90	185	140	(180×2)	165	(200×2)	
騒音値(dB) 注2	冷房	49	50	53	56	55	58	58/60	61	61/63	65
	製品質量 (kg) 注3	123	130	130	190	154	205	223	305	255	320

項目	PFTV-P670VCM-E1			PFTV-P800VCM-E1			PFTV-P1120VCM-E1			
	室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット		
電源	PFT-P670VDM-E PUTV-P280VSCM-E1 PUTV-P400VSCM-E1 PFT-P800VDM-E PUTV-P400VSCM-E1 PUTV-P450VSCM-E1 PFT-P1120VDM-E PUTV-P335VSCM-E1×2台 PUTV-P450VSCM-E1									
冷房能力 (最大) (kW)	60.0(67.0)			71.0(80.0)			100.0(112)			
外形寸法 注3	高さ (mm)	1830	1650	1650	1830	1650	1650	1852	1650	1650
	幅 (mm)	1750	920	920	1750	920	1750	1825	920	1750
	奥行 (mm)	1064	760	760	1064	760	760	1333	760	760
風量 (m ³ /min) 注3	210	185	185	260	185	(180×2)	360	(185)×2	(180×2)	
騒音値(dB) 注2	冷房	63	62		65	63.5		68	64.5	
	製品質量 (kg) 注3	410	210	230	427	230	310	598	(230)×2	310

項目	PFTV-P1400VCM-E1			
	室内ユニット	室外ユニット		
電源	PFT-P1400VDM-E PUTV-P400VSCM-E1 PUTV-P500VSCM-E1×2台			
冷房能力 (最大) (kW)	125(140)			
外形寸法 注3	高さ (mm)	1852	1650	1650
	幅 (mm)	1825	920	1750
	奥行 (mm)	1333	760	760
風量 (m ³ /min) 注3	450	185	(180×2)×2	
騒音値(dB) 注2	冷房	69	66	
	製品質量 (kg) 注3	652	230	(310)×2

注1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。
 注2 上表の騒音値は、A特性です。
 注3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。
 注4 能力欄の()内は最大値を示します。

別売部品

標準タイプ・高COPタイプ ※P1120・1400・1600形は、受注対応となります。

●**補助電気ヒーター（P140～800形のみ）**

ユニット内に組込んで、配線工事をすることで暖房運転補助を行います。

●**加湿器（ペーパーパン式・蒸気スプレー式・透湿膜式）**

暖房のときは室内の湿度が下がります。健康のためにも、家具や調度品などの乾きすぎをさけるためにも、適度な加湿が必要です。加湿器を組込むことにより室内を適当な湿度に保ち、理想的な暖房運転ができます。冷房運転での加湿はできません。

●**その他**

圧力計・進相コンデンサー・遠方表示キット・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。（上記別売部品は、機種により組込みできない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）

オールフレッシュタイプ ※P1250・1600形は、受注対応となります。

●**加湿器（ペーパーパン式・蒸気スプレー式・透湿膜式）**

暖房のときは室内の湿度が下がります。健康のためにも、家具や調度品などの乾きすぎをさけるためにも、適度な加湿が必要です。加湿器を組込むことにより室内を適当な湿度に保ち、理想的な暖房運転ができます。冷房運転での加湿はできません。

●**その他**

圧力計・進相コンデンサー・遠方表示キット・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。（上記別売部品は、機種により組込みできない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）

年間冷房中温タイプ

●**蒸気・温水ヒーター**

ユニット内に組込み、配線工事をすることで暖房運転を行います。

●**冷房レヒート用電気ヒーター**

冷房レヒート専用で加熱運転を行います。

●**その他**

圧力計・進相コンデンサー・遠方表示キット・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。（上記別売部品は、機種により組込みできない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）

